

## Edition Flex 外部仕様書 基本機能編

本ドキュメントは Edition Flex の外部仕様を完全に網羅したものではなく  
本ドキュメントに記載されていない外部仕様は、製品の実際の振る舞いを  
仕様とさせていただきます。

また、仕様は予告なく変更される場合があります。

---

## 1 – 目次

1 – 目次.....	2
2 – Edition Flex 機能一覧.....	8
2 – 1 対象リリース.....	8
2 – 2 クライアントの動作環境.....	8
2 – 3 画面構成.....	9
2 – 4 トップメニューの構成.....	10
2 – 4 サイドパネルの構成.....	14
2 – 5 編集エリアの構成.....	15
2 – 6 ボトムバーの構成.....	16
2 – 7 ファイルメニュー.....	17
2 – 7 – 1 ライブラリ.....	17
2 – 7 – 2 カセット.....	20
2 – 7 – 3 素材アップロード (デザイナー以外のユーザ専用).....	22
2 – 7 – 4 エクセルアップロード.....	23
2 – 7 – 5 ページ一覧.....	23
2 – 7 – 6 保存.....	24
2 – 7 – 7 終了.....	25
2 – 8 作成メニュー.....	26
2 – 8 – 1 文字.....	26
2 – 8 – 2 段組文字.....	28
2 – 8 – 3 複合文字.....	30
2 – 8 – 4 文字アーチ.....	32
2 – 8 – 5 QR コード.....	34
2 – 8 – 6 直線.....	35

---

2-8-7	長方形.....	36
2-8-8	二重線.....	37
2-8-9	波線.....	38
2-8-10	円.....	39
2-8-11	楕円.....	40
2-8-12	円弧.....	41
2-8-13	楕円弧.....	42
2-8-14	連続線.....	43
2-8-15	多角形.....	44
2-8-16	手書き線.....	45
2-8-17	マーカー線.....	46
2-8-18	バルーン.....	47
2-8-19	引き出し線.....	48
2-8-20	寸法線.....	49
2-8-21	マーカー.....	50
2-8-22	<b>JR</b> 線路.....	51
2-8-23	私鉄線路.....	52
2-8-24	道路.....	53
2-8-25	河川.....	54
2-9	色選択パレット.....	55
2-10	カラーパレットの RGB と CMYK.....	56
2-11	カラーパレット外の RGB と CMYK.....	57
2-11-1	グラデーション.....	57
2-12	要素の選択.....	58
2-12-1	選択した要素の移動.....	58
2-12-2	選択した要素の拡大・縮小.....	58

---

2-12-3	選択した要素の回転	59
2-12-4	選択した要素の編集	59
2-12-5	選択した要素のサイズと位置の編集	60
2-12-6	選択した要素の重なり順編集	62
2-12-7	選択した要素のコピー	62
2-12-8	選択した要素の削除	63
2-12-9	選択した要素の許可属性の編集 (デザイナー・ユーザ専用機能)	63
2-13	編集メニュー	66
2-13-1	プロパティ編集 (デザイナー・ユーザ専用)	66
2-13-2	拡大	66
2-13-3	縮小	66
2-13-4	コピー	66
2-13-5	ペースト	67
2-13-6	削除	67
2-13-7	グループ	67
2-13-8	グループ解除	67
2-13-9	マスク	68
2-13-10	矩形切り抜き	68
2-13-11	多点切り抜き	69
2-13-12	円・楕円切り抜き	69
2-13-13	操作の取り消し	69
2-13-14	操作のやり直し	70
2-14	編集エリアでの右クリック	71
2-15	配置メニュー	72
2-15-1	座標・回転	72
2-15-2	上へ	73

---

2-15-3	下へ.....	73
2-15-4	左へ.....	73
2-15-5	右へ.....	73
2-15-6	左回転.....	73
2-15-7	回転を戻す.....	74
2-15-8	右回転.....	74
2-15-9	前面へ.....	74
2-15-10	背面へ.....	74
2-15-11	最前面へ.....	74
2-15-12	最背面へ.....	75
2-15-13	上揃え.....	75
2-15-14	上下の中心揃え.....	75
2-15-15	下揃え.....	76
2-15-16	左揃え.....	76
2-15-16	左右の中心揃え.....	77
2-15-17	右揃え.....	77
2-15-18	上下の均等揃え.....	78
2-15-19	左右の均等揃え.....	78
2-16	表示メニュー.....	80
2-16-1	拡大.....	80
2-16-2	縮小.....	80
2-16-3	全体表示.....	81
2-16-4	上へ.....	81
2-16-5	下へ.....	81
2-16-6	左へ.....	81
2-16-7	右へ.....	82

---

---

2-16-8	余白表示切替 .....	82
2-16-9	ルーラー表示切替 .....	83
2-16-10	レイヤー1に作図 .....	84
2-16-11	レイヤー1表示切替 .....	85
2-16-12	レイヤー2に作図 .....	85
2-16-13	レイヤー2表示切替 .....	85
2-17	設定メニュー .....	86
2-17-1	デザイナーモード .....	86
2-17-2	ユーザーモード .....	87
2-18	ヘルプメニュー .....	88
2-18-1	ヘルプ .....	88
2-18-2	キーボードの使い方 .....	89
2-18-3	Edition Flex について .....	89
2-19	保存ボタン .....	90
2-20	プレビューメニュー .....	90
2-21	ズームスライダーバー .....	91
2-22	ズームオール .....	91
2-23	終了ボタン .....	92
2-24	余白表示アイコン .....	92
2-25	補助線アイコン .....	93
2-26	ルーラーアイコン .....	96
2-27	グリッドアイコン .....	97
2-28	レイヤー・インジケーター .....	98
2-29	表示倍率 .....	98
2-30	複数要素の選択 .....	99
3-30-1	グループ化 .....	99

---

---

3-30-2	整列.....	99
3-30-3	マスク .....	100
2-31	数値入力アシスト.....	100
2-32	特定要素選択.....	101
2-32-1	カセット .....	101
2-32-2	画像.....	103
2-32-3	マスク要素.....	104
2-32-4	グループ要素 .....	105
2-33	素材メニュー .....	106
2-34	文字メニュー .....	107
2-35	図形メニュー.....	108

---

## 2 – Edition Flex 機能一覧

### 2 – 1 対象リリース

本ドキュメントの対象となるリリースは以下の通りです。

- Edition Flex V1.7
- Edition BackStage V1.5

### 2 – 2 クライアントの動作環境

- Internet Explorer 7.x 8.x
- Google Chrom 9.x
- FireFox 3.6.x
- Adobe Flash Player 10.x
- Windows7、Windows XP、Windows 2000

## 2-3 画面構成

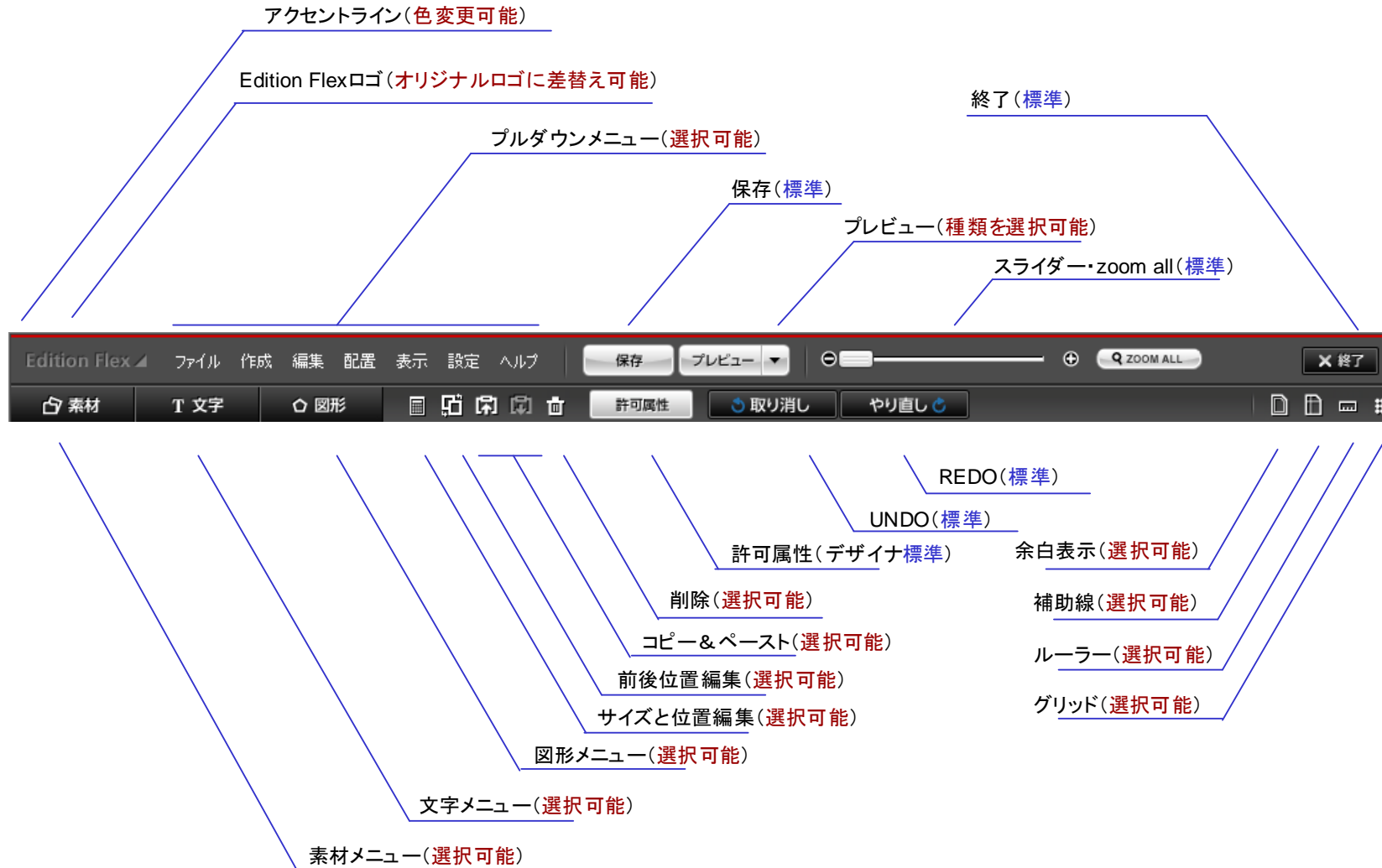
Edition Flex の編集画面は以下の4エリアで構成されます。

- ・ トップメニュー
- ・ サイドパネル
- ・ 編集エリア
- ・ ボトムバー



## 2-4 トップメニューの構成

トップメニューは下図の要素で構成されます。



- 
- アクセントライン  
Web セーフカラーの中から指定可能です。HTML の編集によるカスタマイズが可能です。
  - Edition Flex ロゴ  
画像ファイルの差替えによるカスタマイズが可能です。
  - プルダウンメニュー  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - 保存ボタン  
標準機能です。 (標準機能のオブジェクトは削除できません。)
  - プレビューメニュー  
メニューは標準です。メニュー中のファイル種類は設定ファイルによる選択が可能です。
  - ズームスライダー  
標準機能です。
  - ズーム・オールボタン  
標準機能です。
  - 終了ボタン  
標準機能です。

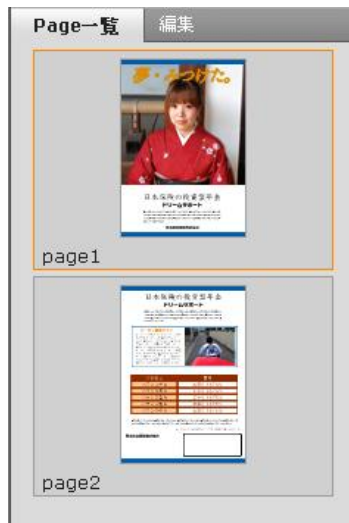
- 
- 素材メニュー  
メニューボタンの有無と、ボタンにより表示されるメニュー項目は、設定ファイルによる選択が可能です。
  - 文字メニュー  
メニューボタンの有無と、ボタンにより表示されるメニュー項目は、設定ファイルによる選択が可能です。
  - 図形メニュー  
メニューボタンの有無と、ボタンにより表示されるメニュー項目は、設定ファイルによる選択が可能です。
  - サイズと位置調整アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - 前後位置調整アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - コピーアイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。(ペーストアイコンとセットです。)
  - ペーストアイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。(コピーアイコンとセットです。)
  - 削除アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。

- 
- 許可属性ボタン  
ユーザーモードがデザイナーの場合の標準機能です。
  - 取り消し (UNDO) ボタン  
標準機能です。
  - やり直し (REDO) ボタン  
標準機能です。
  - 余白表示アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - 補助線アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - ルーラーアイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。
  - グリッドアイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。

## 2-4 サイドパネルの構成

サイドパネルは以下の要素で構成されます。

- Page 一覧  
標準機能です。



- ・ 編集パネル  
標準機能です。



例) カセット編集パネルの場合

## 2-5 編集エリアの構成

編集エリアは以下の要素で構成されます。



- 編集エリア  
標準機能です。
- 水平スクロールバー  
標準機能です。
- 垂直スクロールバー  
標準機能です。

## 2-6 ボトムバーの構成

ボトムバーは以下の要素で構成されます。



- テンプレート（ドキュメント）名称表示  
標準機能です。
- ページ数表示  
標準機能です。
- アクティブページのサイズ表示  
標準機能です。

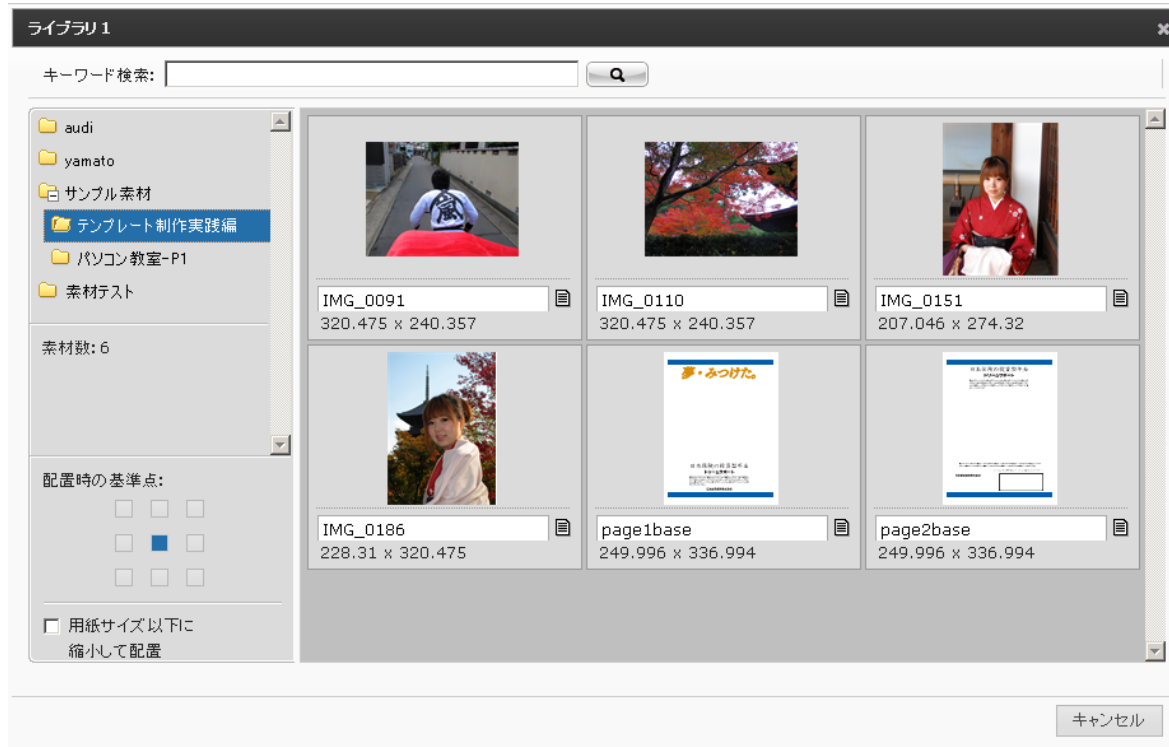
- レイヤー 1 操作アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。(レイヤー 1 と 2 はセットです。)
  
- レイヤー 1 操作アイコン  
設定ファイルによる有無の選択が可能です。(レイヤー 1 と 2 はセットです。)
  
- Zoom 倍率表示  
標準機能です。  
ドキュメント表示倍率を概算で%表示します。

## 2-7 ファイルメニュー

ファイルメニューに表示可能なコマンドと機能概要は以下の通りです。

### 2-7-1 ライブラリ

Flex が利用可能な素材ライブラリにアクセスして、ライブラリダイアログを表示します。  
メニューには、利用可能なライブラリがリストされます。

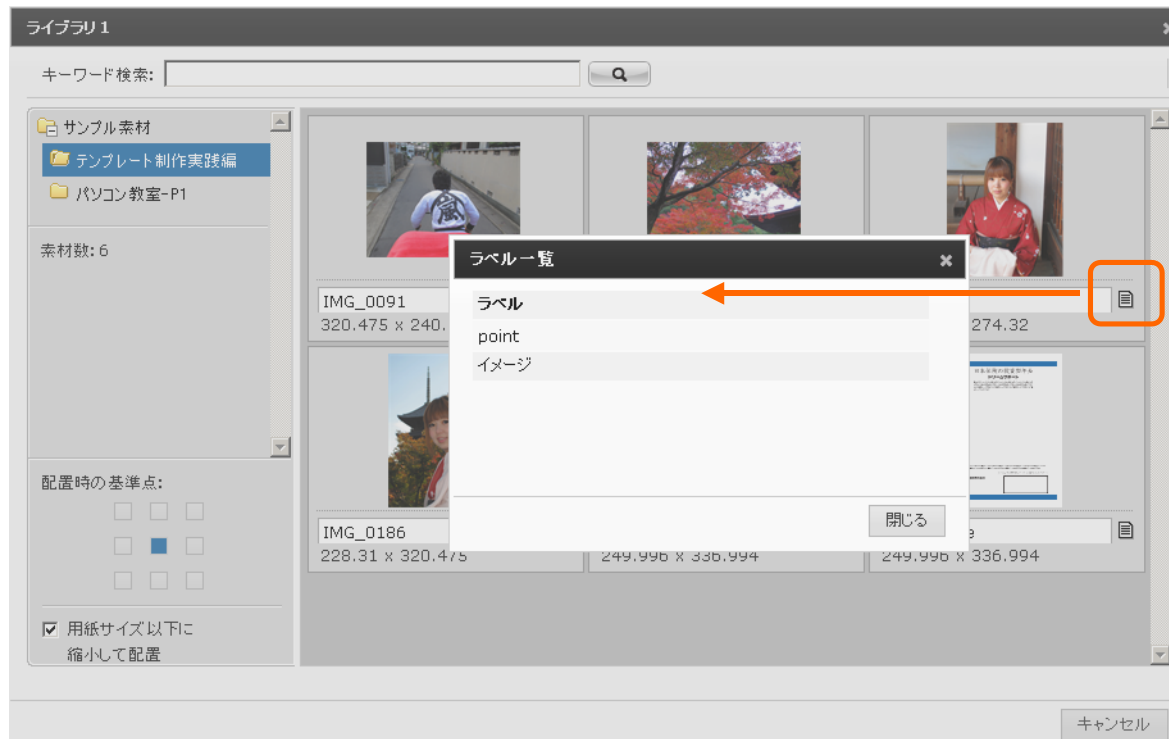


グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	フォルダー	ライブラリーの登録されているフォルダーを指定します			
2	素材数	フォルダーに登録されているライブラリーの総数を表示します			
3	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		
4	縮小配置	用紙サイズ以下に縮小して配置する時にチェックします	未チェック		
5	サムネイル	ライブラリーのサムネイルです			

- 素材の検索属性

下図のアイコンのクリックで、素材に設定されたラベルを参照することができます。

ダイアログ上部の「キーワード検索：」では、入力文字列により、ラベルを前方一致検索して合致する素材を表示します。



ライブラリへの素材投入は、Edition BackStage から行います。  
対応フォーマットは以下の通りです。

対応フォーマット	仕様
SVG	SVG1.0/エンコード:UTF-8/CSSプロパティ:スタイル属性/文字:アウトライン
PDF	PDF/X-1a:2001 (Acrobat 4/PDF 1.3相当)
JPEG	EPSのJPEGエンコードファイルは対象外です
PNG8	
PNG24	
GIF	

ライブラリから Flex に配置したファイルは、Flex 上ではすべて画像オブジェクトとして扱います。  
出力時には、PDF や SVG のベクターデータはベクターデータのまま PDF に変換します。

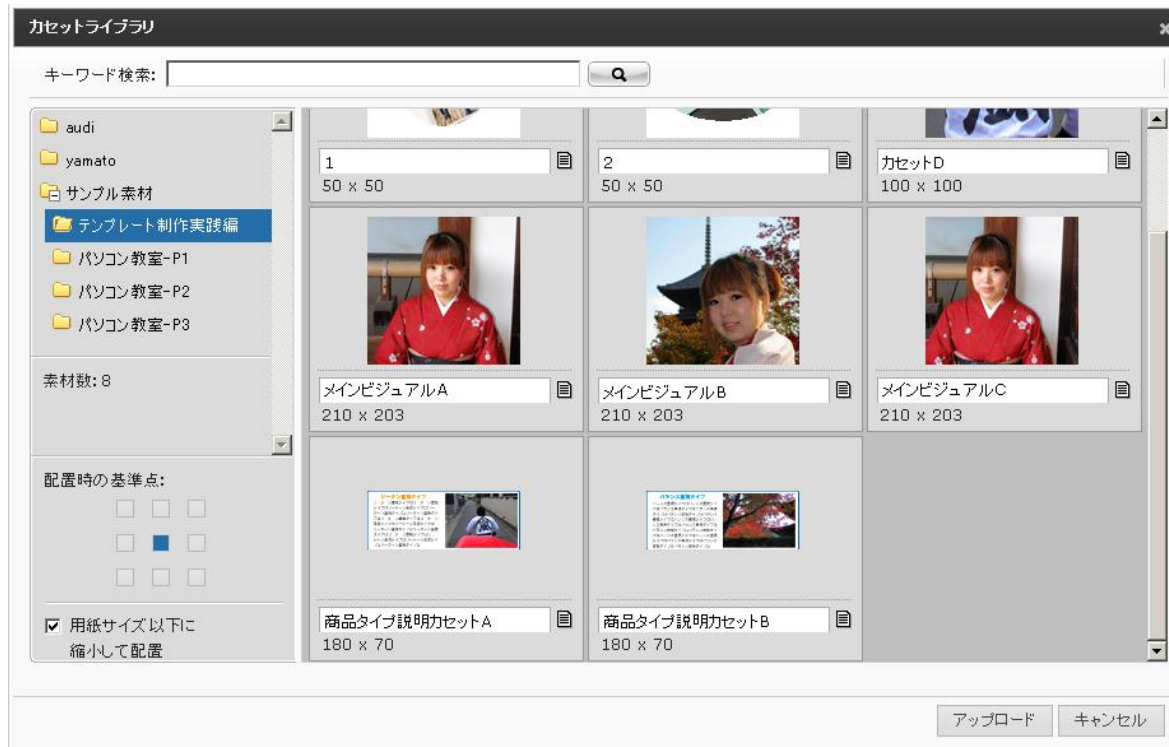
## 2-7-2 カセット

Flex が利用可能なカセットライブラリにアクセスして、カセットライブラリ・ダイアログを表示します。  
メニューには、利用可能なカセットライブラリが複数表示されます。

デザイナーモード（デザイナー・ユーザがログインした場合）では、カセットライブラリ・ダイアログにアップロードボタンは表示されません。

アップロードボタンによりアップロード可能なファイルは、2-7-1 を参照してください。

Edition Backstage 上で、レイヤーを区別してパーツを配置したカセットを作成しても、ドキュメント上にカセットを配置した時点では、カセットは一つのパーツとして配置したレイヤーに属し、表示、非表示、アクティブ（選択可能）、非アクティブ（選択不可）は、当該レイヤーの設定に従います。



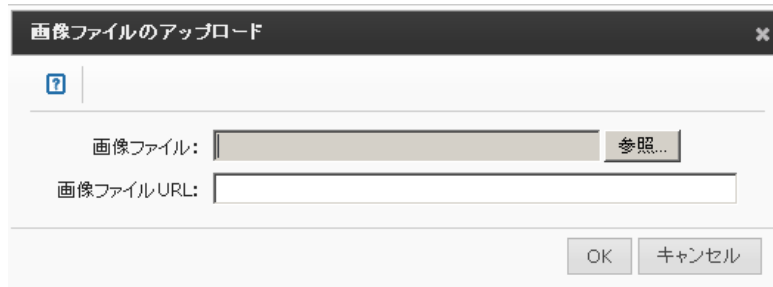
グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	フォルダー	ライブラリーの登録されているフォルダーを指定します			
2	素材数	フォルダーに登録されているライブラリーの総数を表示します			
3	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		
4	縮小配置	用紙サイズ以下に縮小して配置する時にチェックします	未チェック		
5	サムネイル	ライブラリーのサムネイルです			

カセットライブラリの検索属性も素材の検索属性と共通です。

2-7-1を参照してください。

### 2-7-3 素材アップロード（デザイナー以外のユーザ専用）

Flex の編集画面に取り込む素材を直接アップロードします。



アップロード可能なファイルは以下の通りです。

対応フォーマット	仕様
SVG	SVG1.0/エンコード:UTF-8/CSSプロパティ:スタイル属性/文字:アウトライン
PDF	PDF/X-1a:2001 (Acrobat 4/PDF 1.3相当)
JPEG	EPSのJPEGエンコードファイルは対象外です
PNG8	
PNG24	
GIF	

アップロードしたファイルは、ライブラリダイアログには取り込まれません。

アップロードと同時にドキュメントにレイアウト可能となるだけです。

#### 2-7-4 エクセルアップロード

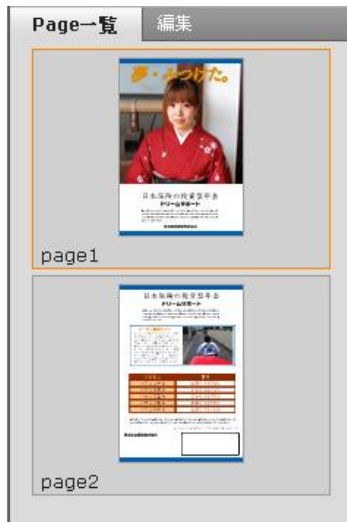
エクセルアップロードダイアログを表示します。Flex はエクセルを読み込み、表オブジェクトに変換します。

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	エクセルファイル	ローカルPCに保存されているエクセルファイルを指定します			
1	エクセルファイルURL	インターネット上のエクセルファイルのURLを指定します			
1	シート番号	エクセルのワークシートの番号を指定します	1		
1	セル番号	素材として使用するセル範囲を指定します(例:A1..F10)	省略		

#### 2-7-5 ページ一覧

テンプレート（ドキュメント）のページ一覧をサイドパネルに表示します。

サムネイルとページ名を表示します。作業中のページサムネイルの枠がハイライトします。



## 2-7-6 保存

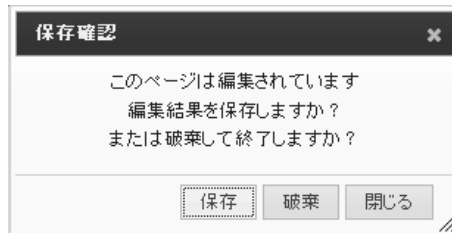
作業中のページの編集結果を保存します。



## 2-7-7 終了

編集を終了して、編集終了画面に遷移します。

編集内容を保存していない場合は、保存確認ダイアログを表示します。

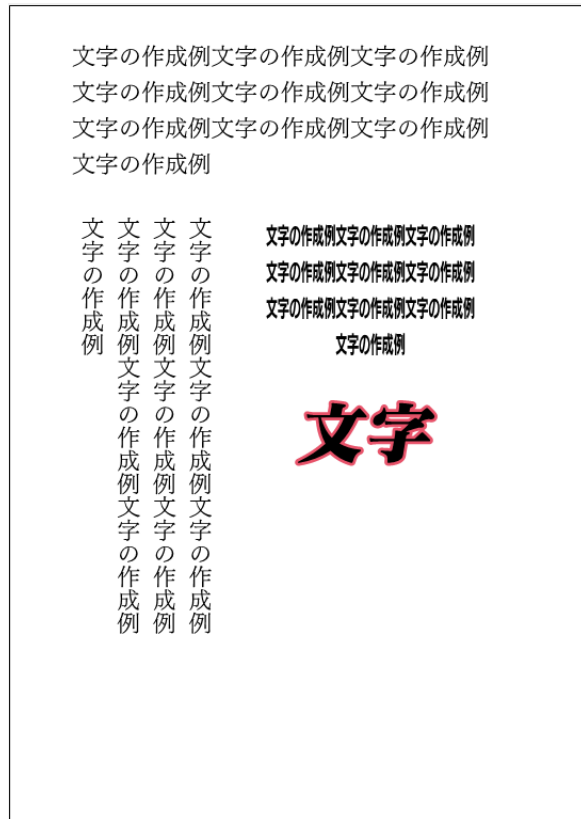


## 2-8 作成メニュー

作成メニューに表示可能なコマンドと機能概要は以下の通りです。

### 2-8-1 文字

- 文字の作成例



- 文字の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			800字
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	12pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	K100		
2	フォント・ボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォントイタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	横書き	横書きを指定します	ON		
2	縦書き	縦書きを指定します	OFF		
2	左詰め	左詰めを指定します	ON		
2	中央揃え	中央揃えを指定します	OFF		
2	右詰め	右詰めを指定します	OFF		
3	行間	フォントの標準外の行間を指定します	0pt		
3	文字間	フォントの標準外の文字間を指定します	0pt		
3	文字幅	文字単体の幅を指定します	100%		
4	カーニングペア	カーニングペア調整を有効にします	OFF		
4	詰め	詰めを有効にします	OFF		
5	袋文字幅	袋文字の線幅を指定します	0pt		
5	袋文字色	袋文字の色を指定します			
6	配置基準点	文字列の配置基準点を指定します	中央		
7	文字幅指定	文字列全体の幅制限を有効にします	OFF		
7	文字幅	文字列全体の幅を指定します	0mm		
7	行数指定	行数制限を有効にします	OFF		
7	最大行数	最大行数を指定します	0行		
8	文字ラベル	文字ラベルを指定します			
8	序数	カセット内文字編集ダイアログの表示順を指定します	0		

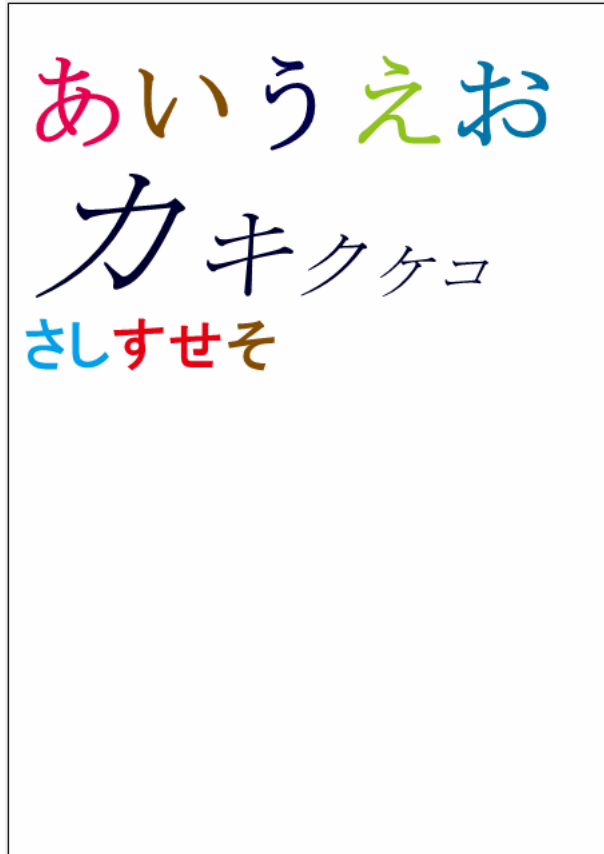


- ・ 段組文字作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			800字
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	12pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	K100		
2	フォントボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォントイタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	横書き	横書きを指定します	ON		
2	縦書き	縦書きを指定します	OFF		
2	左詰め	左詰めに指定します	ON		
2	中央揃え	中央揃えを指定します	OFF		
2	右詰め	右詰めに指定します	OFF		
2	両端揃え	両端揃えを指定します	OFF		
2	両端揃え(全行)	最終行を含む両端揃えを指定します	OFF		
3	幅	段組み1段の幅を指定します	0mm		
3	高さ	段組みの高さを指定します	0mm		
3	段数	段数を選択します	1段	1段	3段
3	間隔	段と段の間隔を指定します	0mm		
3	句点送り	JIS句読点送りを有効にします	JIS4051		
4	段組みモード	段組みモード(フォーマット)を選択します	JIS4051		
4	段先頭空白	段の先頭で空白を有効にするか選択します	OFF		
4	段落先頭空白	段落の先頭で空白を有効にするか選択します	OFF		
5	行間	フォントの標準外の行間を指定します	0pt		
5	文字間	フォントの標準外の文字間を指定します	0pt		
5	文字幅	文字単体の幅を指定します	100%		
5	カーニングベア	カーニングベア調整を有効にします	OFF		
6	袋文字幅	袋文字の線幅を指定します	0pt		
6	袋文字色	袋文字の色を指定します			
7	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		
8	文字ラベル	文字ラベルを指定します			
8	序数	カセット内文字編集ダイアログの表示順を指定します	0		

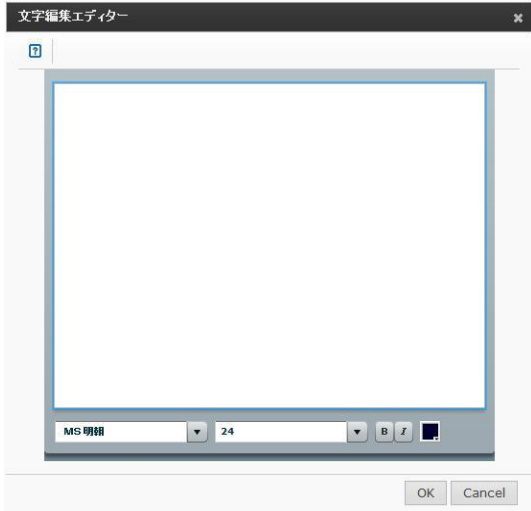
## 2-8-3 複合文字

- ・ 複合文字の作成例



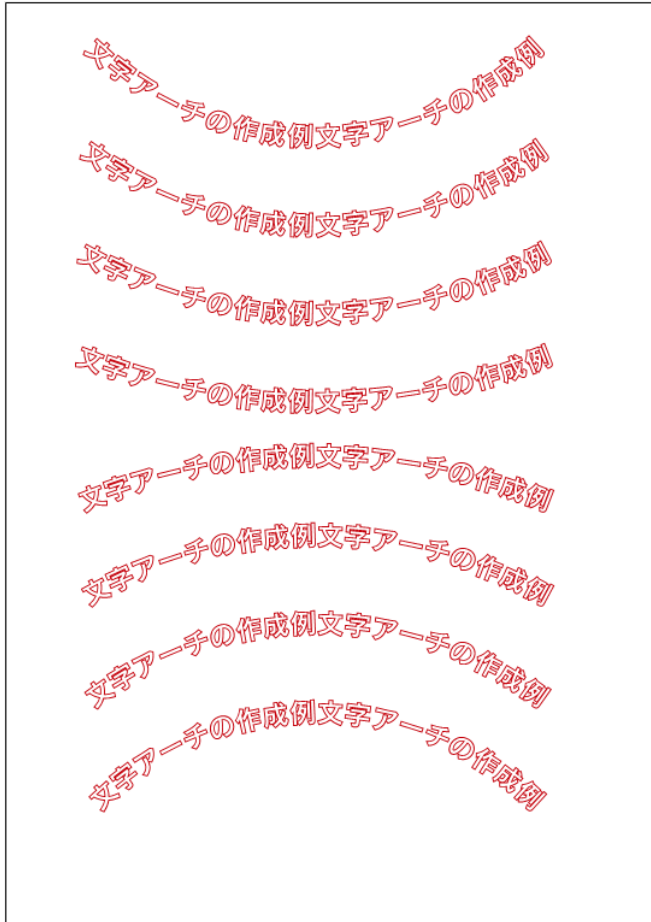
- 複合文字の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォント・サイズ	文字のフォントサイズを指定します	12pt		
2	フォント・ボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォント・イタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	フォント・カラー	文字の色を指定します	K100		

2-8-4 文字アーチ

- 文字アーチの作成例



- 文字アーチの作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	アーチ角度	アーチの角度を選択します	上30度	30度	180度
3	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
3	フォントボールド	ボールドを指定します	OFF		
3	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	12pt		
3	フォントカラー	文字の色を指定します	K100		
4	袋文字幅	袋文字の線幅を指定します	0pt		
4	袋文字色	袋文字の色を指定します			
4	角処理	袋文字の角処理方法を選択します	マイター		

## 2-8-5 QRコード

- QRコード作成例



- QRコード作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	QRコードの値の文字列を入力します			
2	背景色	QRコードの背景色を指定します	白		
2	バージョン	QRコードのバージョンを選択します	自動選択		
2	エンコードモード	エンコードモードを選択します	英数字		
2	誤り訂正レベル	誤り訂正レベルを選択します	15%	7%	30%
3	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		

Page一覧 QRコード編集

QRコード編集

テキスト: [入力ボックス拡大](#)

背景色:

バージョン: 自動選択

エンコードモード: 英数字(0-9A-Z \$%\*+./:)

誤り訂正レベル: 15%

配置時の基準点:

## 2-8-6 直線

- 直線の作成例



- 直線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		
2	端形状 始点	線の端の形状を指定します(始点)	なし		
2	端形状 終点	線の端の形状を指定します(終点)	なし		
3	影色	線の影の色を指定します	なし		
3	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
3	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		

Page一覧 直線編集

— 直線

スタイル: 実線 ▼

線幅: 1 pt 線色: ■

端形状: 始点: なし ▼

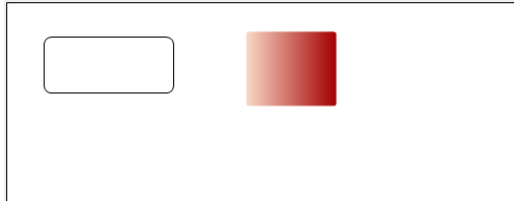
          終点: なし ▼

影:  X: 0.0 pt

          Y: 0.0 pt

## 2-8-7 長方形

- 長方形の作成例

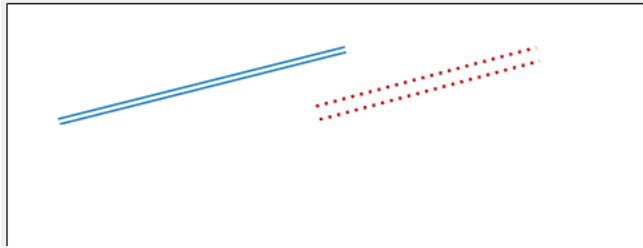


- 長方形の作成属性

属性	備考	初期値	最小	最大
スタイル	外形線分のスタイルを指定します	実線		
線幅	外形線の幅を指定します	1		
線色	外形線の色を指定します	黒		
塗色	塗りつぶしの色を指定します	なし		
角丸め	角丸め円弧の半径を指定します	1		
グラデーション(開始色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
グラデーション(終了色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
グラデーションの変化の割合	開始色の塗りつぶし領域の割り合いを指定します 100%で均等塗り分けです	100%		
グラデーションのタイプ(直線方向)	直線方向のグラデーション塗りパターンを指定します	チェック		
グラデーションのタイプ(放射状)	放射状のグラデーション塗りパターンを指定します	未チェック		
直線方向タイプの傾き	0度=水平方向。時計回りに角度を指定します	0		
影色	線の影の色を指定します	なし		
影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		
配置基準点	文字列の配置基準点を指定します	中央		

## 2-8-8 二重線

- 二重線の作成例



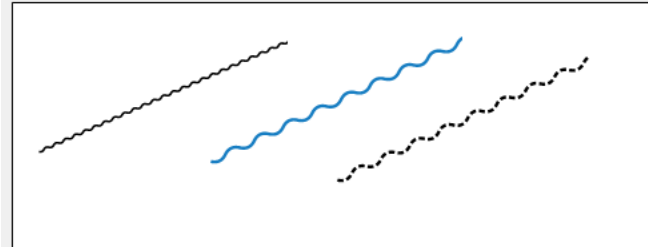
- 二重線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	間隔	線分の間隔を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		

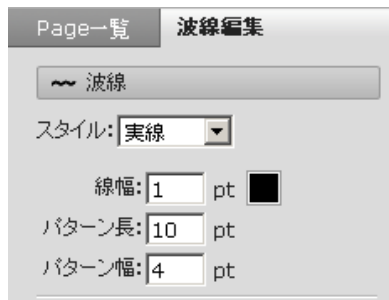
Page一覧 二重線編集  
 二重線  
 スタイル: 実線  
 線幅: 1 pt  
 間隔: 1 pt

## 2-8-9 波線

- 波線の作成例



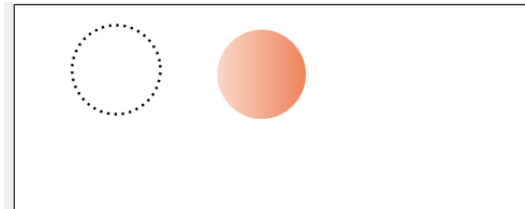
- 波線の作成属性



グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		
1	パターン長	波の1サイクルの長さ	10		
1	パターン幅	波の振幅	4		

## 2-8-10 円

- ・ 円の作成例

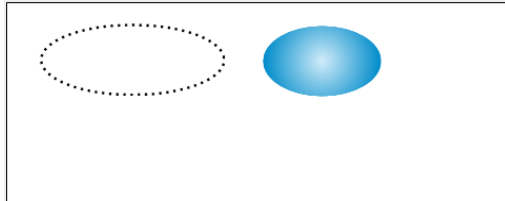


- ・ 円の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	外形線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	外形線の幅を指定します	1		
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	塗色	塗りつぶしの色を指定します	なし		
2	グラデーション(開始色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
2	グラデーション(終了色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
3	グラデーションの変化の割合	開始色の塗りつぶし領域の割り合いを指定します 100%で均等塗り分けです	100%		
4	グラデーションのタイプ(直線方向)	直線方向のグラデーション塗りパターンを指定します	チェック		
4	グラデーションのタイプ(放射状)	放射状のグラデーション塗りパターンを指定します	未チェック		
4	直線方向タイプの傾き	0度=水平方向。時計回りに角度を指定します	0		
5	影色	線の影の色を指定します	なし		
5	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
5	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		
6	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		

## 2-8-11 楕円

- 楕円の作成例



- 楕円の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	外形線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	外形線の幅を指定します	1		
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	塗色	塗りつぶしの色を指定します	なし		
2	グラデーション(開始色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
2	グラデーション(終了色)	塗りつぶしの色にグラデーション効果をつけます	なし		
3	グラデーションの変化の割合	開始色の塗りつぶし領域の割り合いを指定します 100%で均等塗り分けです	100%		
4	グラデーションのタイプ(直線方向)	直線方向のグラデーション塗りパターンを指定します	チェック		
4	グラデーションのタイプ(放射状)	放射状のグラデーション塗りパターンを指定します	未チェック		
4	直線方向タイプの傾き	0度=水平方向。時計回りに角度を指定します	0		
5	影色	線の影の色を指定します	なし		
5	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
5	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		
6	配置基準点	配置基準点を指定します	中央		

Page一覧 楕円編集

楕円

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: 黒 塗色: /

グラデーション: / → /

変化の割合: 100 %

直線方向 角度: 0 度

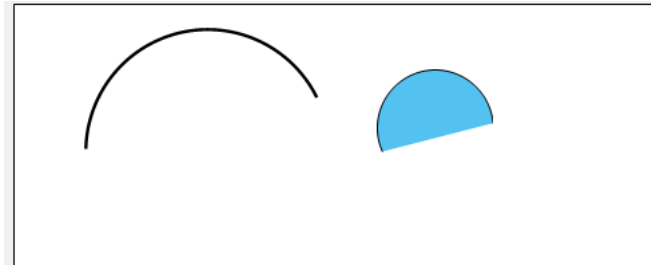
放射状

影: / X: 0.0 pt Y: 0.0 pt

配置時の基準点:

## 2-8-12 円弧

- 円弧の作成例



- 円弧の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	外形線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	外形線の幅を指定します	1		
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	塗色	塗りつぶしの色を指定します	なし		
2	影色	線の影の色を指定します	なし		
2	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
2	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		

Page一覧 **円弧編集**

円弧

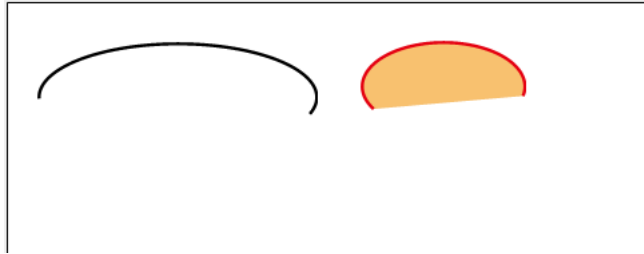
スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色:  塗色:

影:  X: 0.0 pt Y: 0.0 pt

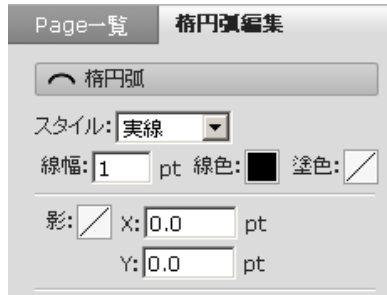
## 2-8-13 楕円弧

- 楕円弧の作成例



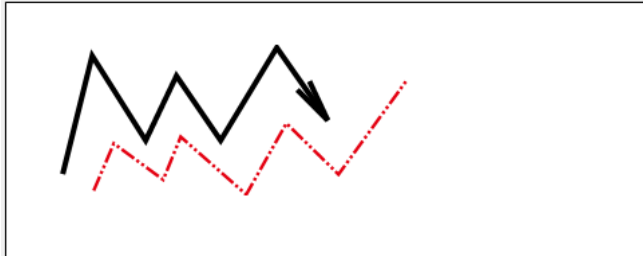
- 楕円弧の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	外形線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	外形線の幅を指定します	1		
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	塗色	塗りつぶしの色を指定します	なし		
2	影色	線の影の色を指定します	なし		
2	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
2	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		



## 2-8-14 連続線

- 連続線の作成例



- 連続線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		
2	端形状 始点	線の端の形状を指定します(始点)	なし		
2	端形状 終点	線の端の形状を指定します(終点)	なし		
3	影色	線の影の色を指定します	なし		
3	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
3	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		

Page一覧 連続線編集

連続線

スタイル: 実線

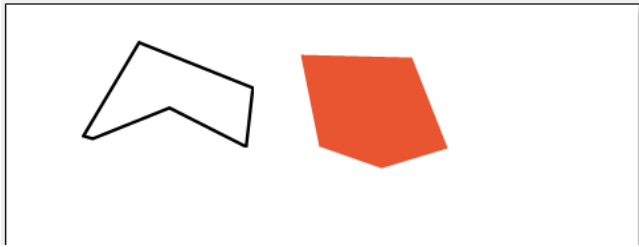
線幅: 1 pt 線色:

端形状: 始点: なし 終点: なし

影:  X: 0.0 pt Y: 0.0 pt

## 2-8-15 多角形

- 多角形の作成例

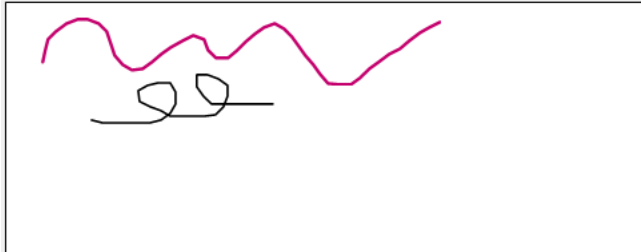


- 多角形の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		
1	塗色	塗りつぶしの色を指定します	黒		
2	影色	線の影の色を指定します	なし		
2	影オフセットX方向	線と影のオフセット距離を指定します(X方向)	0.0		
2	影オフセットY方向	線と影のオフセット距離を指定します(Y方向)	0.0		

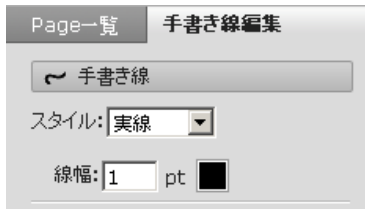
## 2-8-16 手書き線

- 手書き線の作成例



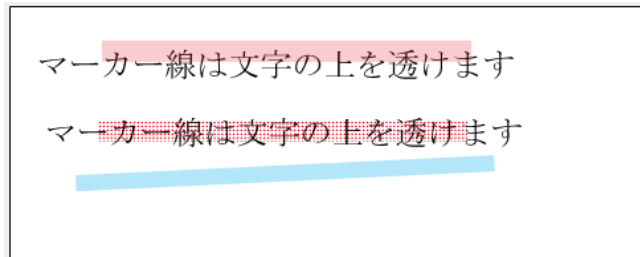
- 手書き線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	スタイル	線分のスタイルを指定します	実線		
1	線幅	線の幅を指定します	1		
1	線色	線の色を指定します	黒		



## 2-8-17 マーカー線

- マーカー線の作成例

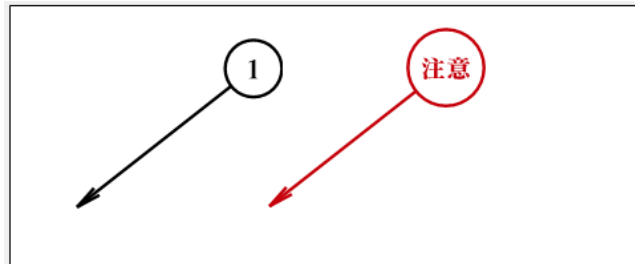


- マーカー線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	線幅	ラインマーカーの線幅を指定します	1		
1	線色	ラインマーカーの色を指定します	黒		
2	階調	ラインマーカーの濃度を指定します	10%	10%	90%
2	タイプ	ラインマーカーの塗りつぶしタイプを指定します	半透明		
2	1インチ当たりの線数	「網点」タイプ選択時の網点の間隔を指定します	10線	10線	200線

## 2-8-18 バルーン

- ・ バルーンの作成例



- ・ バルーンの作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォントイタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	10pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	黒		
3	線幅	線の幅を指定します	1pt		
3	塗色	塗り色を指定します			
3	端形状	端点の形状を指定します	なし		

Page一覧 **バルーン編集**

① バルーン

テキスト:

MS明朝

ボールド イタリック

10 pt

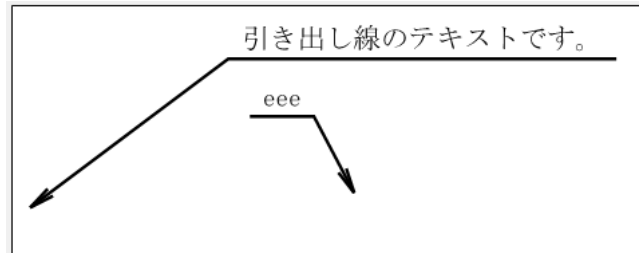
線幅: 1 pt

塗色:

端形状: なし

## 2-8-19 引き出し線

- 引き出し線の作成例



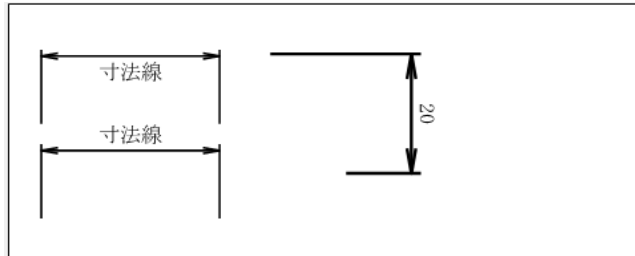
- 引き出し線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	10pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	黒		
3	線幅	線の幅を指定します	1pt		
3	端形状	端点の形状を指定します	なし		



## 2-8-20 寸法線

- 寸法線の作成例

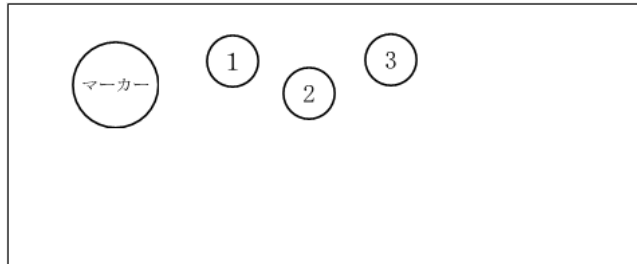


- 寸法線の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォントイタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	10pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	黒		
3	寸法方向	寸法の記入方向を指定します	水平		
3	テキスト位置	配置するテキストの位置を指定します	上		
3	線幅	線の幅を指定します	1pt		
3	始点	寸法線の始点の端形状を指定します	なし		
3	終点	寸法線の終点の端形状を指定します	なし		

## 2-8-21 マーカー

- マーカーの作成例



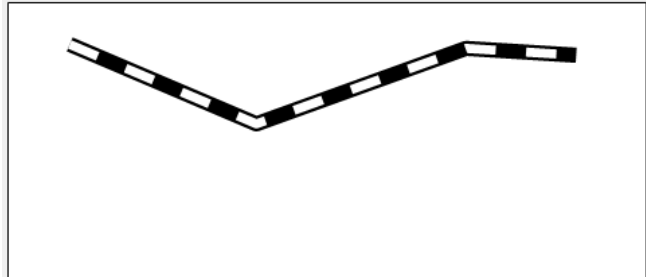
- マーカーの作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	テキスト	作成する文字を入力します			
2	フォント	文字のフォントを選択します	MS明朝		
2	フォントボールド	ボールドを指定します	OFF		
2	フォントイタリック	イタリックを指定します	OFF		
2	フォントサイズ	文字のフォントサイズを指定します	10pt		
2	フォントカラー	文字の色を指定します	黒		
3	線幅	線の幅を指定します	1pt		
3	塗色	塗り色を指定します			



## 2-8-22 JR 線路

- JR 線路の作成例



- JR 線路の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	線色	基本線の色を指定します	黒		
1	パターン色	塗りパターン部分の色を指定します	白		
1	全体幅	線路の幅を指定します	5pt		
1	外線幅	外形線の線幅を指定します	1pt		
1	パターン間隔	塗りパターン部分の間隔を指定します	10pt		

Page一覧 線路(JR)編集

II 線路(JR)

線色:  パターン色:

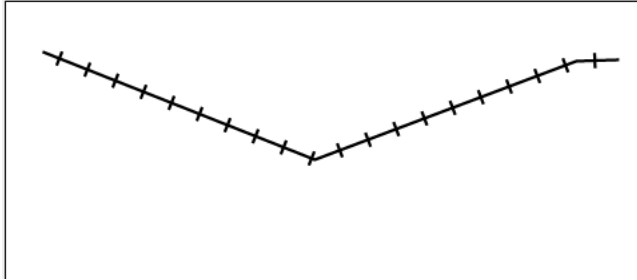
全体幅:  pt

外線幅:  pt

パターン間隔:  pt

## 2-8-23 私鉄線路

- 私鉄線路の作成例



- 私鉄線路の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	線色	線の色を指定します	黒		
1	全体幅	線路の幅を指定します	5pt		
1	中心線幅	中心線の幅を指定します	1pt		
1	横線幅	中心線に直行する横線の線幅を指定します	1pt		
1	横線間隔	横線の描画間隔を指定します	10pt		

Page一覧 線路(私鉄)編集

+++ 線路(私鉄)

線色:

全体幅:  pt

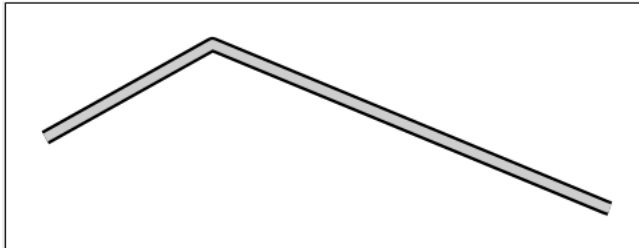
中心線幅:  pt

横線幅:  pt

横線間隔:  pt

## 2-8-24 道路

- 道路の作成例



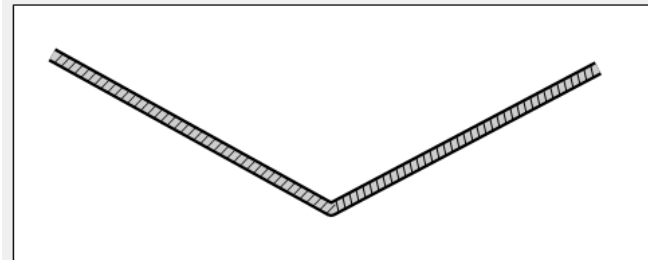
- 道路の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	内側の色	内側の塗り色を指定します	灰色(#CFCFCF)		
1	全体幅	道路の幅を指定します	5pt		
1	外線幅	外形線の線幅を指定します	1pt		



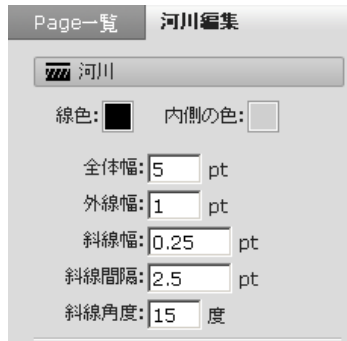
## 2-8-25 河川

- 河川の作成例



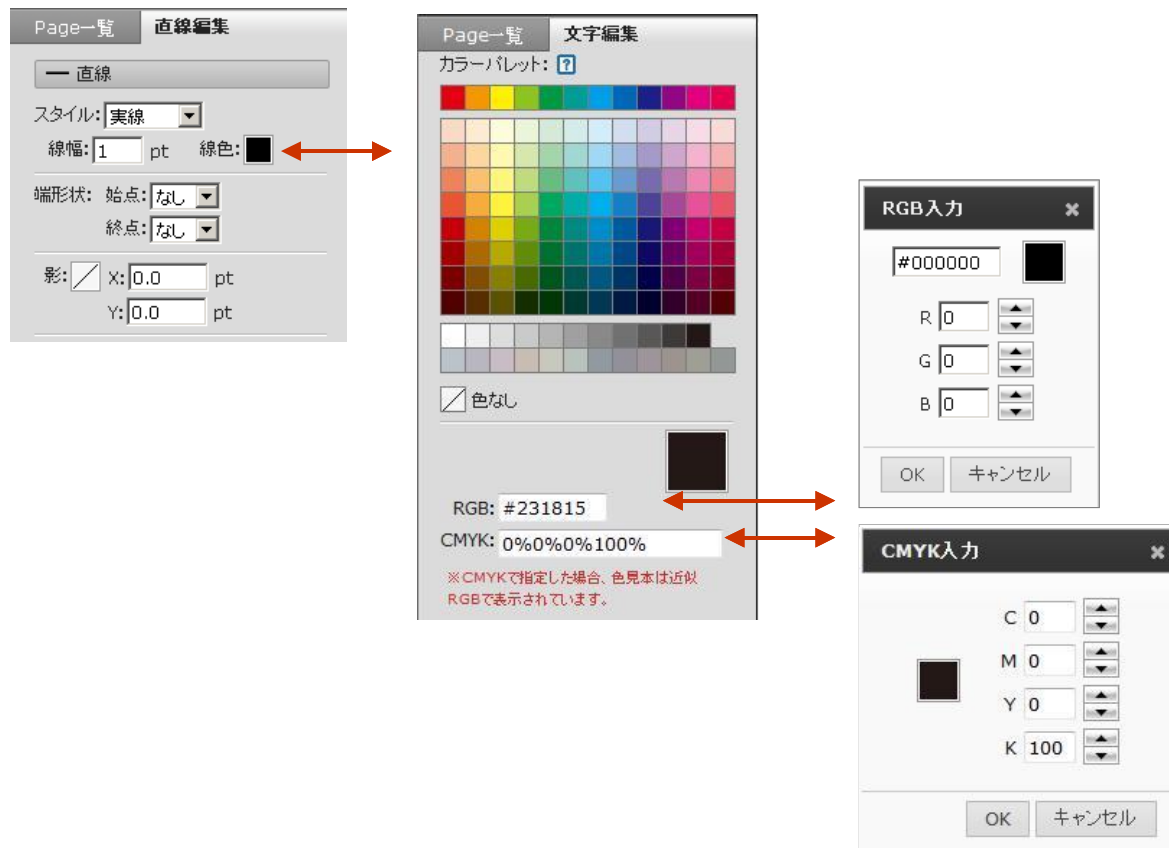
- 河川の作成属性

グループ	属性	備考	初期値	最小	最大
1	線色	外形線の色を指定します	黒		
1	内側の色	内側の塗り色を指定します	灰色(#CFCFCF)		
1	全体幅	河川の幅を指定します	5pt		
1	外線幅	外形線の線幅を指定します	1pt		
1	斜線幅	内側の斜線の線幅を指定します	0.25pt		
1	斜線間隔	内側の斜線の間隔を指定します	2.5pt		
1	斜線角度		15度		



## 2-9 色選択パレット

各オブジェクトの編集パネルにある、色設定をクリックすることで、色選択パレットが表示されます。  
色選択パレットでは、131色のパレットから選択できる他、下図のように、RGB値・CMYK値を直接指定できます。  
RGB/CMYKは、どちらかを指定すると他方が決定されます。



## 2-10 カラーパレットのRGBとCMYK

カラーパレット 131 色の RGB 値と CMYK 値の、対応の初期値は下表の通りです。

段	列	番号	RGB	C	M	Y	K	段	列	番号	RGB	C	M	Y	K	段	列	番号	RGB	C	M	Y	K
1	1	1	#E60012		100	100		4	9	45	#003705	50		100	80	8	5	89	#500047	50	100		60
1	2	2	#FBDAC8		20	20		4	10	46	#009E96	100		50		8	6	90	#33002B	50	100		80
1	3	3	#F5E090		40	40		4	11	47	#D4ECEA	20		10		8	7	91	#E4007F		100		
1	4	4	#EF845C		60	60		4	12	48	#A2D7D4	40		20		8	8	92	#FADCE9		20		
1	5	5	#EA5532		80	80		5	1	49	#61C1BE	60		30		8	9	93	#F4B4D0		40		
1	6	6	#C7000B		100	100	20	5	2	50	00ADA9	80		40		8	10	94	#EE87B4		60		
1	7	7	#A40000		100	100	40	5	3	51	#008A83	100		50	20	8	11	95	#E85298		80		
1	8	8	#7D0000		100	100	60	5	4	52	#00736D	100		50	40	8	12	96	#C6006F		100		20
1	9	9	#530000		100	100	80	5	5	53	#005752	100		50	60	9	1	97	#A4005B		100		40
1	10	10	#F39800		50	100		5	6	54	#003833	100		50	80	9	2	98	#7E0043		100		60
1	11	11	#FEEDC2		10	20		5	7	55	#00A0E9	100				9	3	99	#550025		100		80
1	12	12	#FCD7A1		20	40		5	8	56	#D3EDFB	20				9	4	100	#E5004F		100	50	
2	1	13	#F9C270		30	60		5	9	57	#9FD9F6	40				9	5	101	#FADBDA		20	10	
2	2	14	#F6AD3C		40	80		5	10	58	#54C3F1	60				9	6	102	#F5B2B2		40	20	
2	3	15	#D28300		50	100	20	5	11	59	#00AFEC	80				9	7	103	#EF858C		60	30	
2	4	16	#AC6A00		50	100	40	5	12	60	#008DCB	100			20	9	8	104	#E9546B		80	40	
2	5	17	#834E00		50	100	60	6	1	61	#0075A9	100			40	9	9	105	#C70044		100	50	20
2	6	18	#562E00		50	100	80	6	2	62	#005982	100			60	9	10	106	#A40035		100	50	40
2	7	19	#FF100			100		6	3	63	#003856	100			80	9	11	107	#7D0022		100	50	60
2	8	20	#FFCDB			20		6	4	64	#0068B7	100	50			9	12	108	#540005		100	50	80
2	9	21	#FFF9B1			40		6	5	65	#D3DEF1	20	10			10	1	109	FFFFFF	0	0	0	0
2	10	22	#FFF67F			60		6	6	66	#A3BCE2	40	20			10	2	110	#EFEFEF	10	10	10	10
2	11	23	#FFF33F			80		6	7	67	#6C9BD2	60	30			10	3	111	#DCDDDD	20	20	20	20
2	12	24	#DFD000			100	20	6	8	68	#187FC4	80	40			10	4	112	#C9CACA	30	30	30	30
3	1	25	#B7AA00			100	40	6	9	69	#005AA0	100	50		20	10	5	113	#B5B5B6	40	40	40	40
3	2	26	#8A8000			100	60	6	10	70	#004986	100	50		40	10	6	114	#9FA0A0	50	50	50	50
3	3	27	#5B5300			100	80	6	11	71	#003567	100	50		60	10	7	115	#898989	60	60	60	60
3	4	28	#8FC31F	100		100		6	12	72	#001A43	100	50		80	10	8	116	#727171	70	70	70	70
3	5	29	#ECF4D9	20		20		7	1	73	#1D2088	100	100			10	9	117	#595757	80	80	80	80
3	6	30	#D7E7AF	40		40		7	2	74	#D2CCE6	20	20			10	10	118	#3E3A39	90	90	90	90
3	7	31	#C1DB81	60		60		7	3	75	#A59ACA	40	40			10	11	119	#231815	100	100	100	100
3	8	32	#AACF52	80		80		7	4	76	#796BAF	60	60			11	1	120	#B9C3C9	10			30
3	9	33	#7BA17	100		100	20	7	5	77	#4D4398	80	80			11	2	121	#B8B6C1	10	10		30
3	10	34	#638C0B	100		100	40	7	6	78	#181878	100	100		20	11	3	122	#C7BDC2		10		30
3	11	35	#486A00	100		100	60	7	7	79	#100964	100	100		40	11	4	123	#C8BCB5		10	10	30
3	12	36	#152E00	100		100	80	7	8	80	#02004C	100	100		60	11	5	124	#C9C8BD			10	30
4	1	37	#009944	50		100		7	9	81	#000030	100	100		80	11	6	125	#B9C2BB	10		10	30
4	2	38	#D5EAD8	10		20		7	10	82	#920783	50	100			11	7	126	#929A9F	10			50
4	3	39	#A5D4AD	20		40		7	11	83	#E7D5E8	10	20			11	8	127	#929099	10	10		50
4	4	40	#69BD83	30		60		7	12	84	#CFA7CD	20	40			11	9	128	#9E959A		10		50
4	5	41	#00A95F	40		80		8	1	85	#BA79B1	30	60			11	10	129	#9E948F		10	10	50
4	6	42	#00873C	50		100	20	8	2	86	#A64A97	40	80			11	11	130	#9F9F95			10	50
4	7	43	#007130	50		100	40	8	3	87	#800073	50	100		20	11	12	131	#929994	10		10	50
4	8	44	#00561F	50		100	60	8	4	88	#6A005F	50	100		40								

## 2-1-1 カラーパレット外の RGB と CMYK

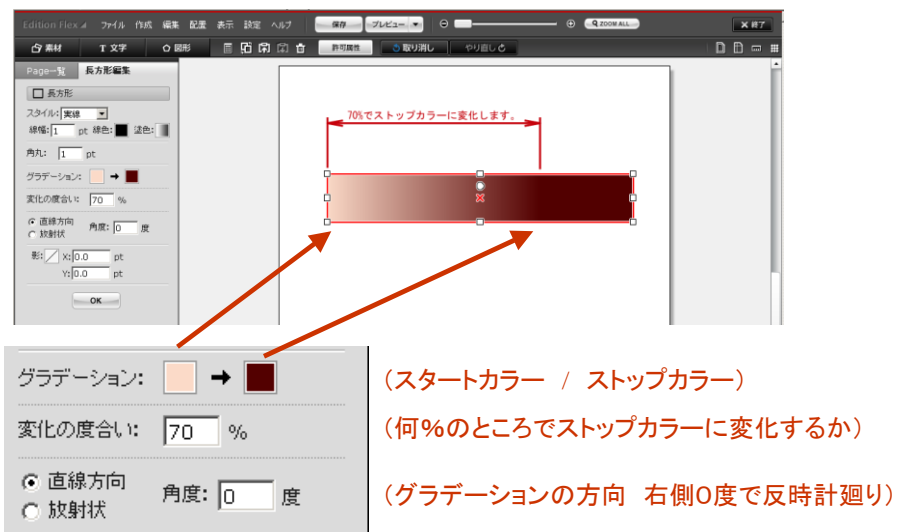
カラーパレット外の RGB または CMYK を指定した場合は、Flex が、対応する CMYK 値または RGB 値を決定します。決定には、RGB と CMYK のカラープロファイル対向を参照したロジックを用います。(非公開)

カラープロファイルは Adobe RGB 対向 Japan 2001 coated が初期標準になります。

画像以外の要素において、オフセット印刷等で印刷色を保証したい場合は、CMYK で色指定することで、出力 PDF の CMYK 値が保障されます。RGB フローやプリンタの場合は、逆に RGB で色指定することで、出力 PDF の RGB 値が保障されます。

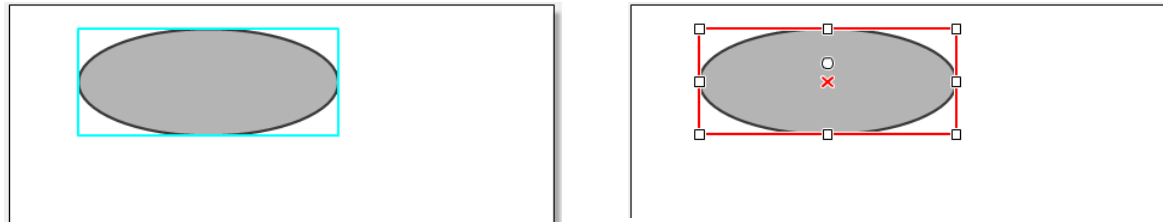
### 2-1-1-1 グラデーション

ほとんどの塗りつぶしが可能な要素では、下図のように、グラデーションによる塗りつぶしが可能です。



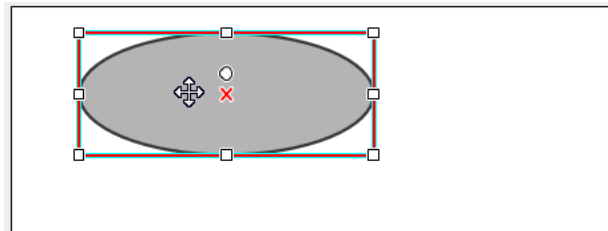
## 2-12 要素の選択

選択が許可されている要素の上をカーソルが通過すると、下図左のようにハイライトします。  
ハイライトした状態の要素をクリックすることで、下図右のように、赤枠が表示された選択状態となります。



### 2-12-1 選択した要素の移動

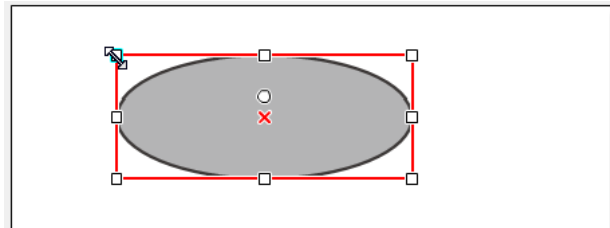
移動が許可されている要素を選択し、要素上のカーソルが下図の状態でもう一度左クリックしたままドラッグすることで、要素を移動できます。  
この時、同時に **Shift** キーを押すことで、移動先を水平方向か垂直方向に拘束できます。



### 2-12-2 選択した要素の拡大・縮小

拡大・縮小が許可されている要素を選択し、要素上のカーソルが下図のようにコントロールポイント上にある状態で、左クリックしたままドラッグすることで、要素を拡大・縮小移動できます。

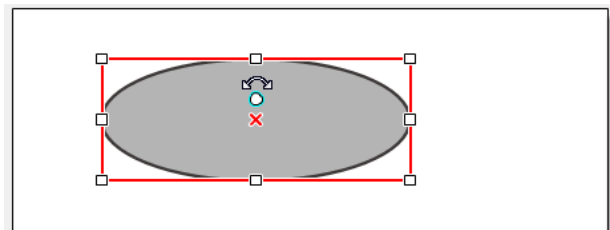
この時、同時に **Shift** キーを押すことで、縦横比を自由にできます。



### 2-12-3 選択した要素の回転

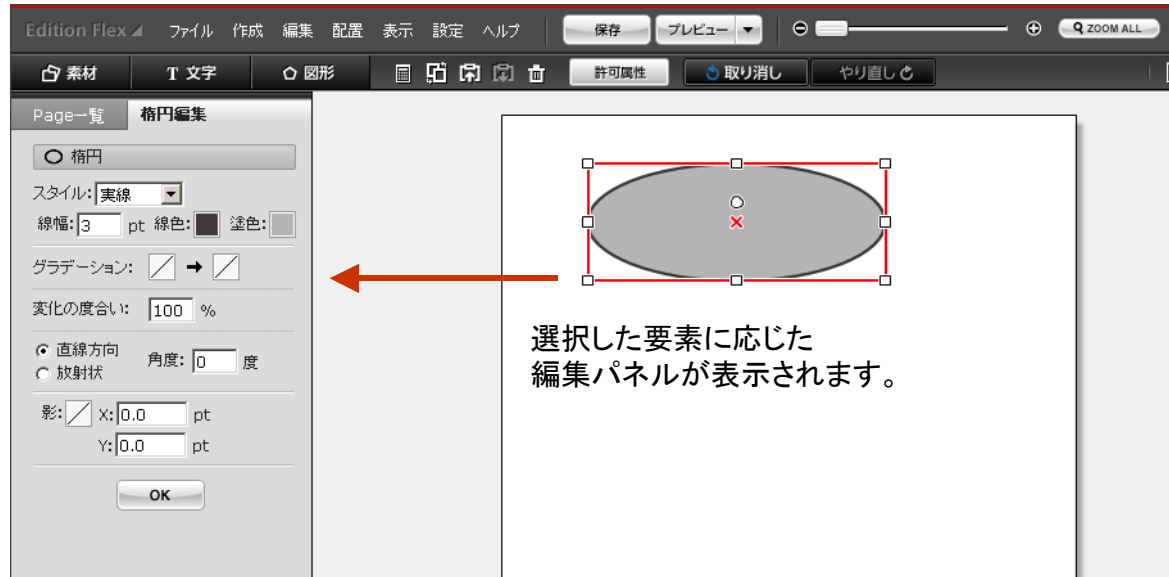
回転が許可されている要素を選択し、要素上のカーソルが下図のように中心コントロールポイント上にある状態で、左クリックしたままドラッグすることで、要素を回転できます。

この時、同時に **Shift** キーを押すことで、回転角度を 45 度ステップに拘束できます。



### 2-12-4 選択した要素の編集

編集が許可されている要素を単独で選択すると、サイドパネルには、下図のように、選択した要素に応じた編集パネルが表示されます。必要に応じて属性を編集して「OK」をクリックすることで、選択中の要素が更新されます。

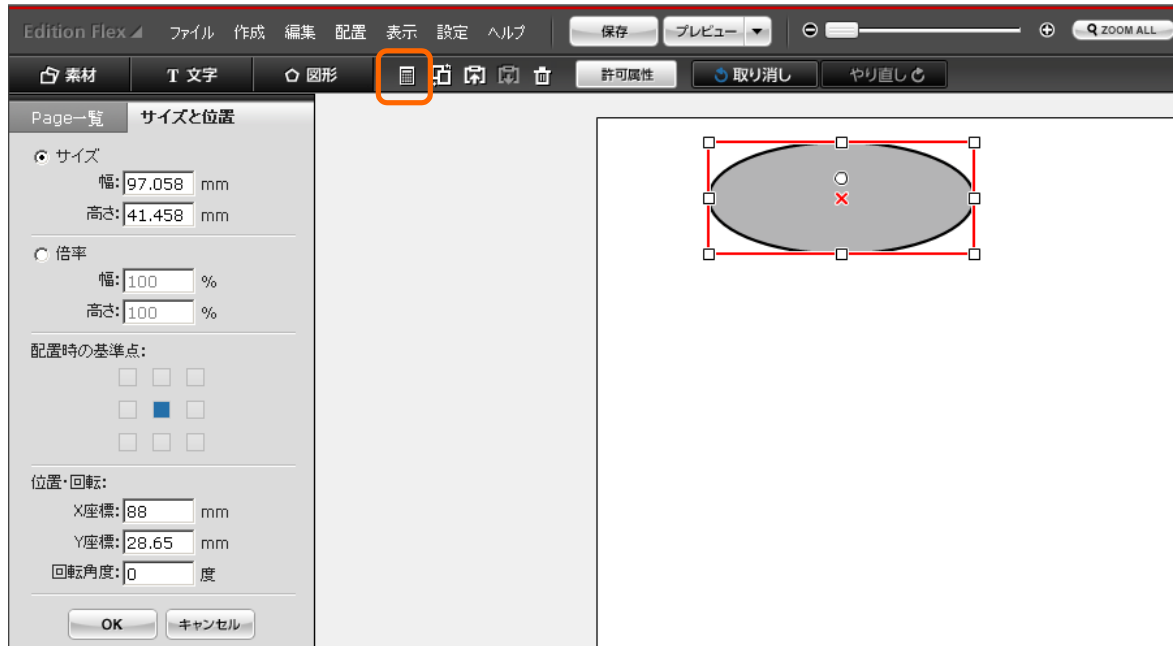


## 2-12-5 選択した要素のサイズと位置の編集

縦横移動、拡大縮小、回転のいずれかが許可されている要素の選択時には、下図の「サイズと位置」のアイコンがアクティブになります。

「サイズと位置」のクリックにより、選択中の図形のサイズ、倍率、配置基準点、位置、回転角度のうち、編集が許可されている属性をサイドパネル上で編集できます。(配置基準点がない要素の場合は、配置基準点の編集部分は表示されません。)

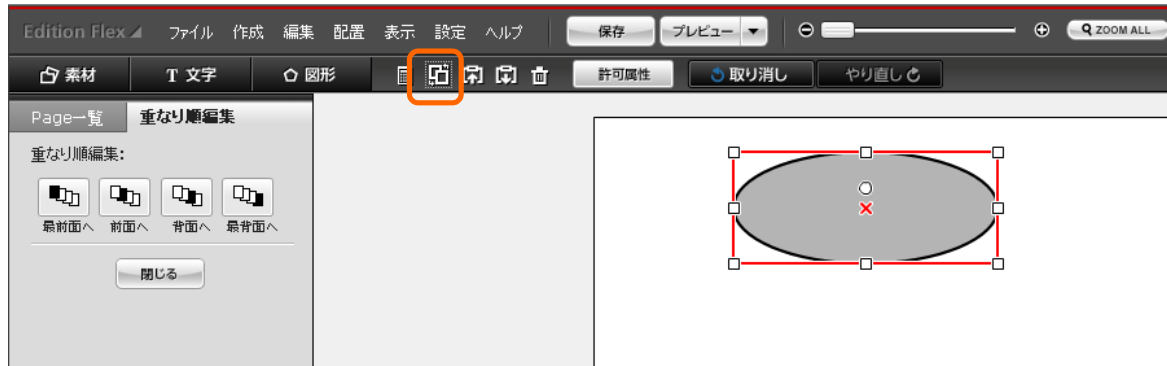
サイズと位置の編集属性がサイドパネルに表示されている状態で、編集画面上の要素を、直接マウスで移動、拡大等を行っても、サイズと位置の編集パネルには反映されません。(一度別のコマンド状態に遷移することで反映できます)



## 2-12-6 選択した要素の重なり順編集

前後移動が許可されている要素の選択時には、下図の「重なり調整」のアイコンがアクティブになります。

「重なり調整」のクリックにより、選択中の図形の、現在編集画面上にある要素との前後関係の重なり順を編集できます。



## 2-12-7 選択した要素のコピー

コピーが許可されている要素の選択時には、下図左の「コピー」のアイコンがアクティブになります。

「コピー」のクリックにより、選択中の図形がクリップボードにコピーされ、ペースト可能になります。

下図右の「ペースト」アイコンのクリックで、編集画面上にクリップボードの要素を配置できます。



## 2-12-8 選択した要素の削除

削除が許可されている要素の選択時には、下図左の「削除」のアイコンがアクティブになります。「削除」のクリックにより、選択中の図形が削除できます。



## 2-12-9 選択した要素の許可属性の編集（デザイナー・ユーザ専用機能）

1個の要素を選択中に、「許可属性」ボタンをクリックすることで、下図の許可属性ダイアログによって、選択中の要素の許可属性を編集することができます。

許可属性の編集とは、デザイナー・ユーザ以外が Flex で要素を編集する場合に、ユーザーに許可する編集の範囲を設定する等、下表について編集可能です。

許可属性の設定結果の確認は、デザイナーモードでは確認できません。設定メニューから他のユーザーモードを選択して確認してください。

**許可属性** ✕

**属性:**

<input type="checkbox"/> コピー可能	<input type="checkbox"/> 拡大縮小可能
<input type="checkbox"/> 編集可能	<input type="checkbox"/> 回転可能
<input type="checkbox"/> 縦横移動可能	<input type="checkbox"/> 削除可能
<input type="checkbox"/> 前後移動可能	<input type="checkbox"/> 切り抜き可能

---

**グループ属性:**

グループ解除可能

---

**ハンドル操作:**

<input type="checkbox"/> 直接編集可能	<input type="checkbox"/> 透過部選択
<input type="checkbox"/> 拡大縮小モード ( <input type="radio"/> 自由比率優先 <input type="radio"/> 固定比率優先 <input type="radio"/> 固定比率のみ )	

---

**ロック:**

<input type="checkbox"/> ロック	<input type="checkbox"/> 選択可能ロック
------------------------------	----------------------------------

---

**ラベル:**

---

OK   キャンセル

カテゴリ	設定項目	内容	
属性	コピー可能	要素のコピーを許可する	
属性	拡大縮小可能	要素の拡大、縮小を許可する	
属性	編集可能	編集パネルによる要素の属性編集を許可する	
属性	回転可能	要素の回転を許可する	
属性	縦横移動可能	要素の XY 方向の移動を許可する	
属性	削除可能	要素の削除を許可する	
属性	前後移動可能	要素の前後(重なり順)の編集を許可する	
グループ属性	グループ解除可能	グループの解除を許可する	
ハンドル操作	直線編集可能	組版文字のハンドル操作による直接サイズ編集を許可する	
ハンドル操作	透過部選択	要素が存在する矩形中の透過部分のクリックで要素の選択を許可する	
ハンドル操作	拡大縮小モード	自由比率優先	ハンドルによる要素の拡大縮小時に Shift キーの押下で縦横比保持とする
		固定比率優先	ハンドルによる要素の拡大縮小時に Shift キーの押下で縦横比を任意とする
		固定比率のみ	ハンドルによる要素の拡大縮小時に縦横比の変更を不可とする
ロック	ロック	選択不可とする	
ロック	選択可能ロック	選択は可能だが全ての許可属性は OFF とする	
ラベル	ラベル	要素をプログラムで制御する場合の ID 文字列を設定する	

---

## 2-13 編集メニュー

### 2-13-1 プロパティ編集（デザイナー・ユーザ専用）

1 個の要素を選択中に有効になります。

許可属性ダイアログによって、選択中の要素の許可属性を編集することができます。

詳細は、2-12-9を参照してください。

### 2-13-2 拡大

拡大縮小が許可された要素を選択中に有効になります。

選択した要素を、配置基準点を基点として 20%拡大します。

正方形を例とすると、対角線が 20%拡大されます。

### 2-13-3 縮小

拡大縮小が許可された要素を選択中に有効になります。

選択した要素を、配置基準点を基点として 20%縮小します。

正方形を例とすると、対角線が 20%縮小されます。

### 2-13-4 コピー

コピーが許可された要素を選択中に有効になります。

選択中の図形がクリップボードにコピーされ、ペースト可能になります。

### 2-13-5 ペースト

クリップボードに要素がコピーされていれば有効になります。

クリップボードの要素を編集エリアに配置します。

配置位置のクリックを促します。

クリックすると要素の配置基準点に関係なく、要素の中心をクリック位置に配置します。

### 2-13-6 削除

削除が許可された要素の選択中に有効になります。

選択中の要素を削除します。

### 2-13-7 グループ

複数要素を選択中に有効になります。

選択中の要素をグループ化（グループ要素化）します。

グループ要素の配置基準点は必ず中央になります。

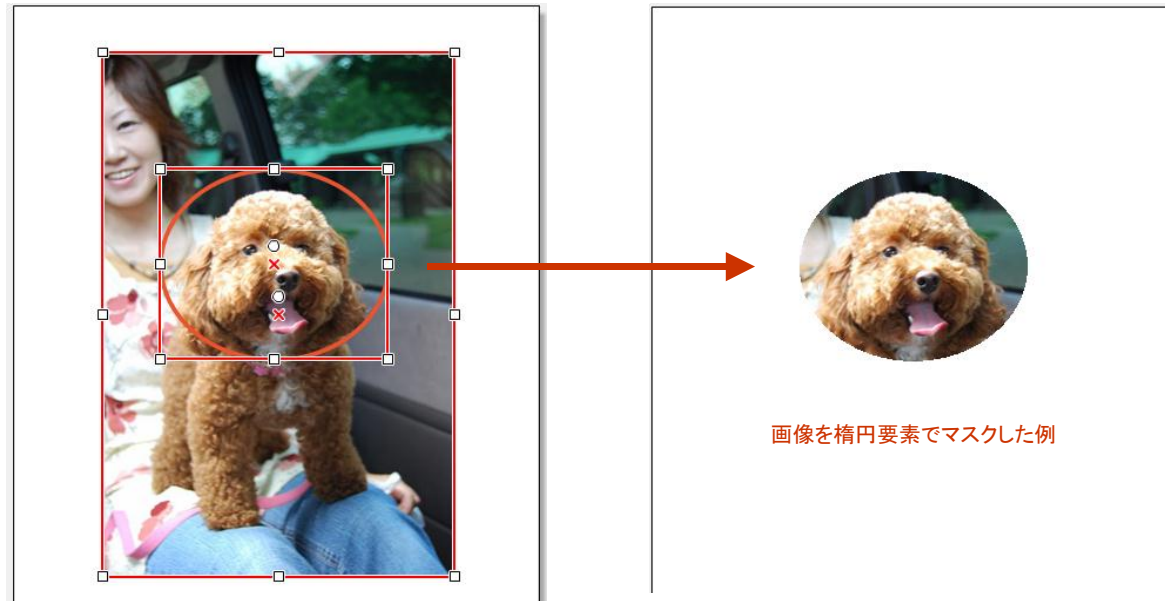
### 2-13-8 グループ解除

グループ解除が許可されたグループ要素を選択中に有効になります。

選択中のグループ要素を解除して、個々の要素に戻します。

## 2-13-9 マスク

切り抜きが許可された要素を複数選択中に有効になります。  
最前面にある要素の輪郭で、その下に重なる要素を切り抜きます。  
切り抜き後はマスク要素となり、解除（元に戻す）が可能です。  
最前面の要素は閉図形であり、切り抜く要素と重なっている必要があります。



## 2-13-10 矩形切り抜き

切り抜きが許可された要素を選択中に有効になります。  
要素上で任意の矩形の対角点（2点）を指示することで、要素を、指示した矩形の輪郭で切り抜きます。

---

切り抜き後はマスク要素となり、解除（元に戻す）が可能です。  
指示する対角点（矩形）は、切り抜く要素と重なっている必要があります。

### 2-13-11 多点切り抜き

切り抜きが許可された要素を選択中に有効になります。  
要素上で任意の多角形の頂点を指示することで、要素を、指示した多角形の輪郭で切り抜きます。  
多角形の頂点を順次指示していき、ダブルクリックで閉じます。  
切り抜き後はマスク要素となり、解除（元に戻す）が可能です。  
指示する多角形は、切り抜く要素と重なっている必要があります。

### 2-13-12 円・楕円切り抜き

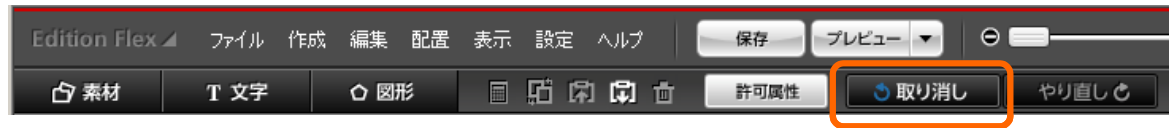
切り抜きが許可された要素を選択中に有効になります。  
楕円の場合：  
要素上で楕円の中心と対角点の1点を指示することで、要素を指示した楕円の輪郭で切り抜きます。  
円の場合：（Shift キーを押しながら操作します）  
要素上で円の中心と円周上の1点を指示することで、要素を指示した円の輪郭で切り抜きます。

切り抜き後はマスク要素となり、解除（元に戻す）が可能です。  
指示する円や楕円は、切り抜く要素と重なっている必要があります。

### 2-13-13 操作の取り消し

編集操作を行って「保存」を実行していない場合に有効になります。操作を1手順戻します。  
「保存」を行うと操作の履歴はクリアされますので、「保存」以前の操作に戻すことはできません。

トップメニューの「取り消し」ボタンと同様の機能になります。



## 2-13-14 操作のやり直し

操作の取り消しを行った場合に有効になります。取り消した操作を1手順、再実行します。

操作の取り消しを行った後に「保存」を実行するとメニューが無効になります。

トップメニューの「やり直し」ボタンと同様の機能になります。



## 2-14 編集エリアでの右クリック



項目	内容
再表示モード：品質優先	表示モードを「品質優先」にします。(デフォルト)
再表示モード：速度優先	表示モードを「速度優先」にします。
再表示	再表示します。
クリップボードへコピー	選択したものをクリップボードへコピーします。
クリップボードから貼付	クリップボードへコピーしたものを貼付けます。
選択したものをカット	選択したものを切り取ります。
選択したものを削除	選択したものを削除します。

設定...	Flash Player のリソースアクセス設定ダイアログ表示
グローバル設定...	Flash Player の詳細設定ウインドウ表示
Adobe Flash Player ~について	Flash Player の説明画面表示

## 2-15 配置メニュー

### 2-15-1 座標・回転

縦横移動、拡大縮小、回転のいずれかが許可されている要素の選択中に有効になります。

サイドパネルが「サイズと位置」の編集パネルに遷移し、選択中の図形のサイズ、倍率、配置基準点、位置、回転角度のうち編集が許可されている値を編集できます。(配置基準位置がない要素の場合は、配置基準位置の編集部分は表示されません。)



**2-15-2 上へ**

縦横移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を1 mm 上 (Y 方向を1 mm マイナス) に移動します。

**2-15-3 下へ**

縦横移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を1 mm 下 (Y 方向を1 mm プラス) に移動します。

**2-15-4 左へ**

縦横移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を1 mm 左 (X 方向を1 mm マイナス) に移動します。

**2-15-5 右へ**

縦横移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を1 mm 右 (X 方向を1 mm プラス) に移動します。

**2-15-6 左回転**

回転が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を、配置基準点を中心に反時計回りに15度、回転します。

---

### 2-15-7 回転を戻す

回転が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素が、編集画面上で回転されている場合は、回転を0度に戻します。

### 2-15-8 右回転

回転が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素を、配置基準点を中心に時計回りに15度、回転します。

### 2-15-9 前面へ

前後移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素の、編集画面中の要素の中での重なり順を1つ前に移動します。

### 2-15-10 背面へ

前後移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素の、編集画面中の要素の中での重なり順を1つ後に移動します。

### 2-15-11 最前面へ

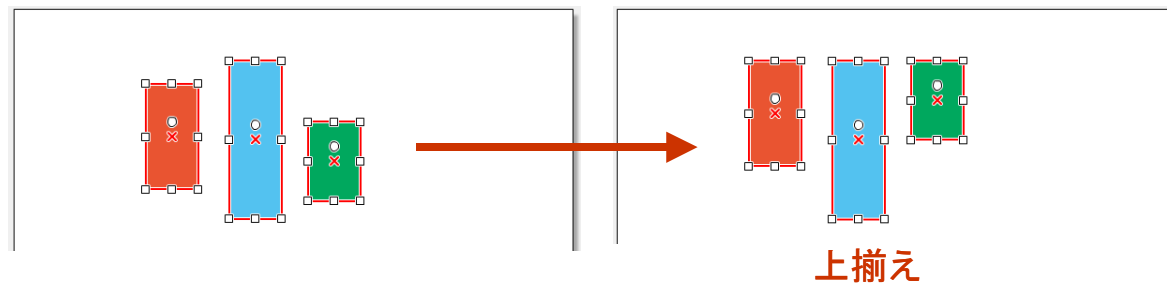
前後移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素の、編集画面中の要素の中での重なり順を一番前に移動します。

## 2-15-12 最背面へ

前後移動が許可された要素の選択中に有効になります。  
選択中の要素の、編集画面中の要素の中での重なり順を一番後に移動します。

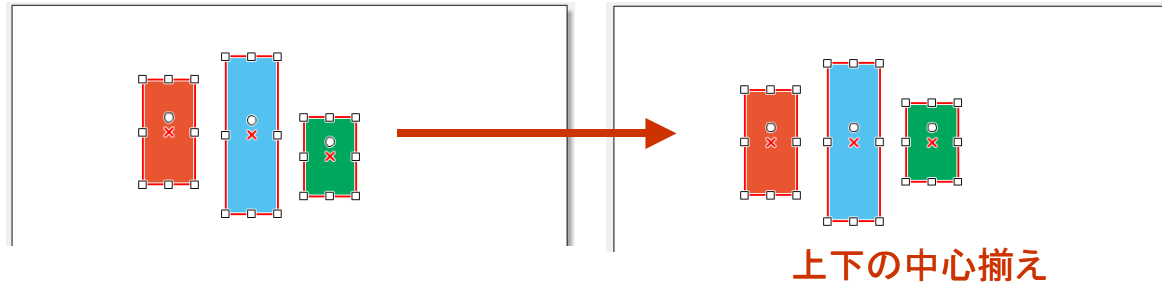
## 2-15-13 上揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。  
各要素の上端が一番上（Y方向がマイナス）にある要素の上端で整列します。



## 2-15-14 上下の中心揃え

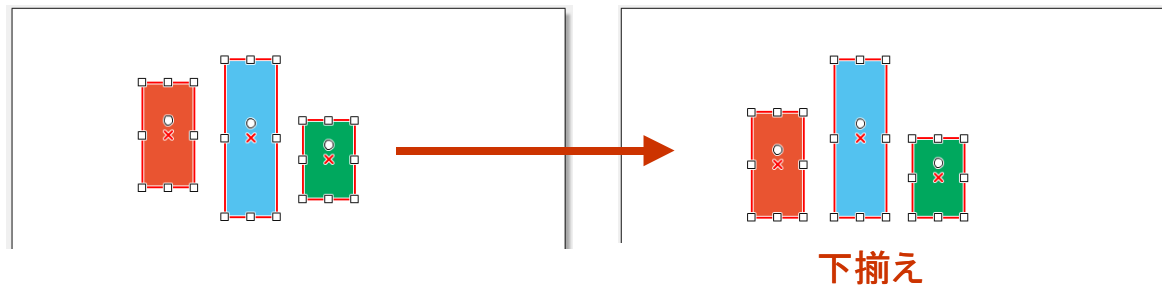
前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。  
各要素の中心の Y 座標が真ん中（付近）にある要素の Y 座標で整列します。



### 2-15-15 下揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。

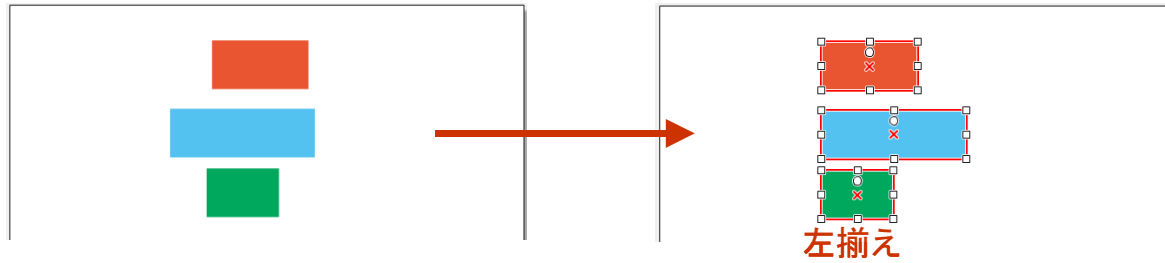
各要素の下端が一番下（Y方向がプラス）にある要素の下端で整列します。



### 2-15-16 左揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。

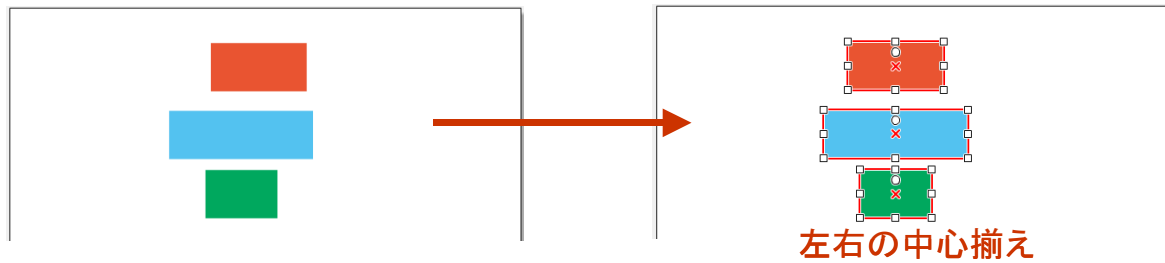
各要素の左端が一番左（X方向がマイナス）にある要素の左端で整列します。



### 2-15-16 左右の中心揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。

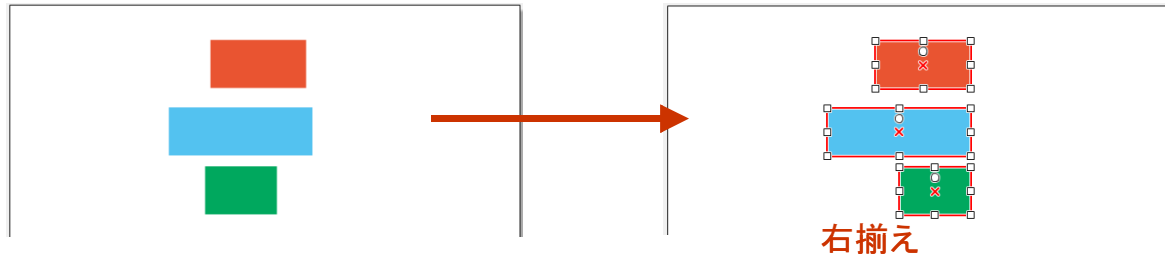
各要素の中心の X 座標が真ん中（付近）にある要素の X 座標で整列します。



### 2-15-17 右揃え

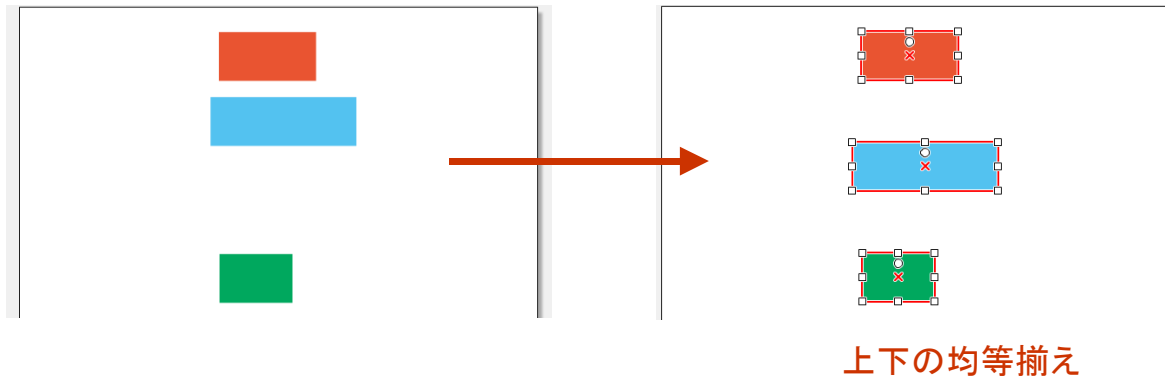
前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。

各要素の右端が一番右（X 方向がプラス）にある要素の右端で整列します。



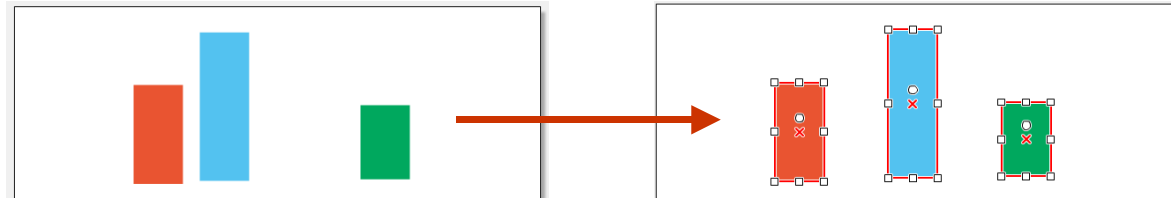
### 2-15-18 上下の均等揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。  
各要素の配置基準点の Y 座標を最大と最小の間で均等に整列します。  
均等に整列するためには、各要素の配置基準点を同一にしてください。



### 2-15-19 左右の均等揃え

前後移動が許可された複数の要素の選択中に有効になります。  
各要素の配置基準点の X 座標を最大と最小の間で均等に整列します。  
均等に整列するためには、各要素の配置基準点を同一にしてください。



左右の均等揃え

## 2-16 表示メニュー

### 2-16-1 拡大

編集エリアの表示倍率を約 25%拡大します。

ドキュメントの幅または高さが 110mm 未満の場合は最大 500%まで拡大できます。

ドキュメントの幅と高さが両方 110mm を超える場合は最大 300%まで拡大できます。

デザイナーモードではドキュメントサイズにかかわらず 1600%まで拡大できます。

拡大率の目安はボトムバーの右端に%表示されます。

下図のズーム：スライダーバーの(+)アイコンのクリックでも同じ動作となります。



### 2-16-2 縮小

編集エリアの表示倍率を約 25%縮小します。

最小 25%まで縮小できます。

拡大率の目安はボトムバーの右端に%表示されます。

下図のズーム：スライダーバーの(-)アイコンのクリックでも同じ動作となります。



### 2-16-3 全体表示

操作時点のウィンドウサイズに合わせて、ドキュメント全体が編集エリアに表示され、なおかつ最大表示倍率になるように表示します。下図の「ズームオール」ボタンのクリックでも同じ動作となります。



### 2-16-4 上へ

現在の表示画面を上方にパンニングします。  
ドキュメントの上端が画面の中央に表示されるまでパンできます。  
1回のパン量は表示倍率に応じます。

### 2-16-5 下へ

現在の表示画面を下方にパンニングします。  
ドキュメントの下端が画面の中央に表示されるまでパンできます。  
1回のパン量は表示倍率に応じます。

### 2-16-6 左へ

現在の表示画面を左にパンニングします。  
ドキュメントの左端が画面の中央に表示されるまでパンできます。  
1回のパン量は表示倍率に応じます。

## 2-16-7 右へ

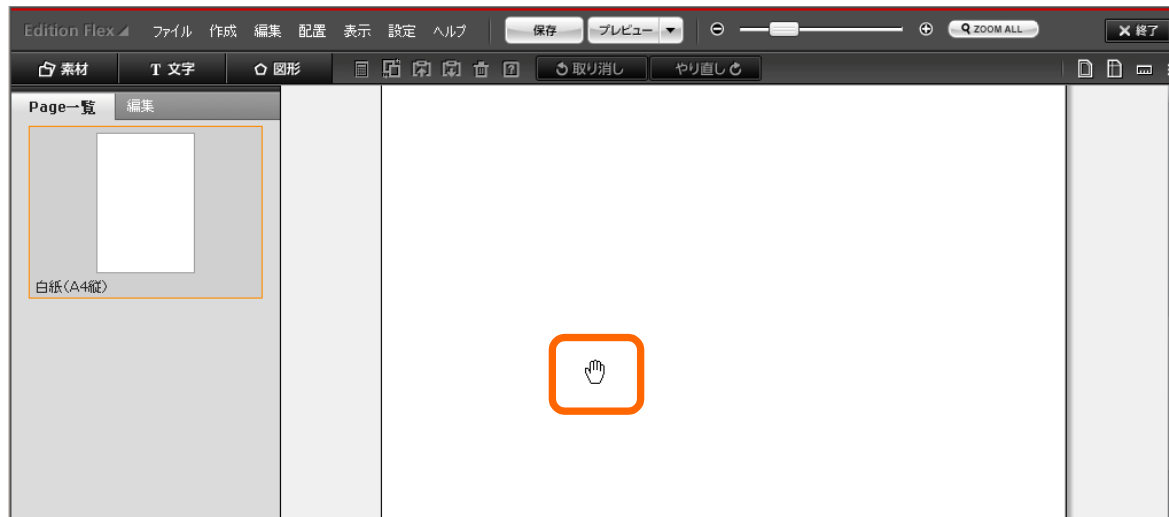
現在の表示画面を右にパンニングします。

ドキュメントの右端が画面の中央に表示されるまでパンできます。

1回のパン量は表示倍率に応じます。

Alt キーを押しながら、ドキュメント上で左クリッすると、下図のようなカーソルに変化します。

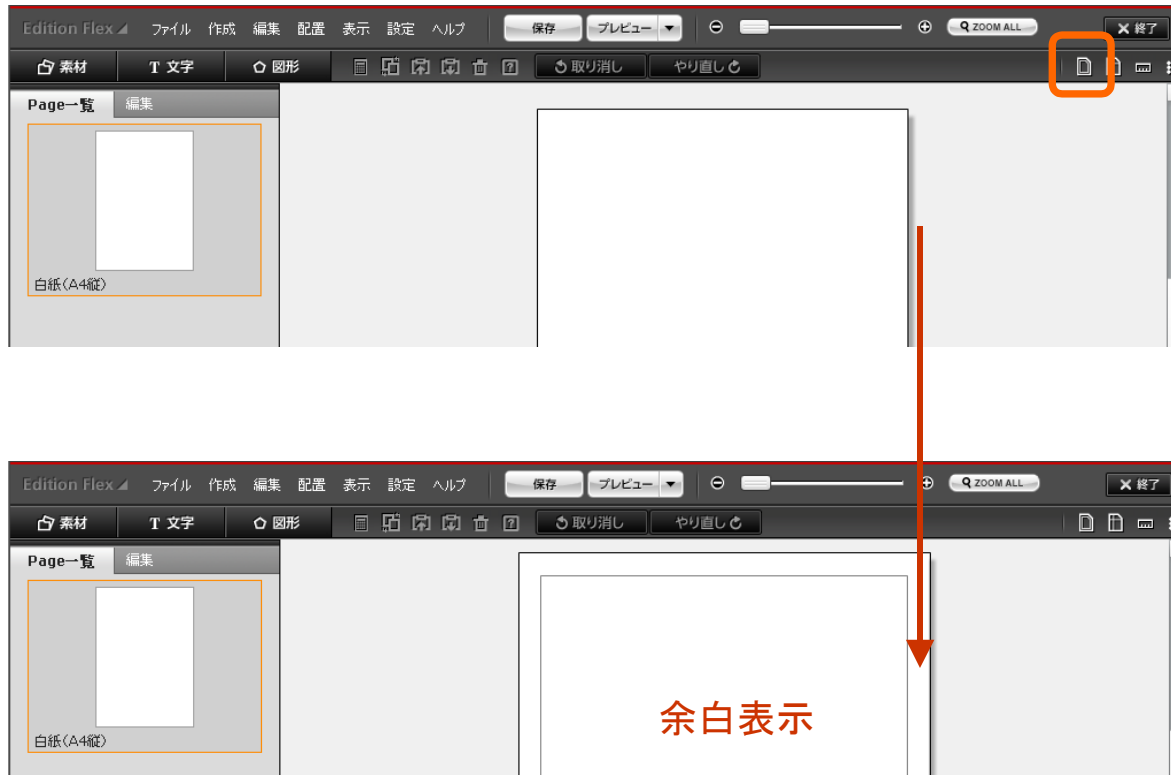
そのままドラックすることで、任意の方向にパンすることができます。



## 2-16-8 余白表示切替

編集中のドキュメントのテンプレートに余白が設定されていれば、下図のように余白表示モードと非表示モードを切り替えることができます。

図中の余白アイコンのクリックでも同じ動作となります。



## 2-16-9 ルーラー表示切替

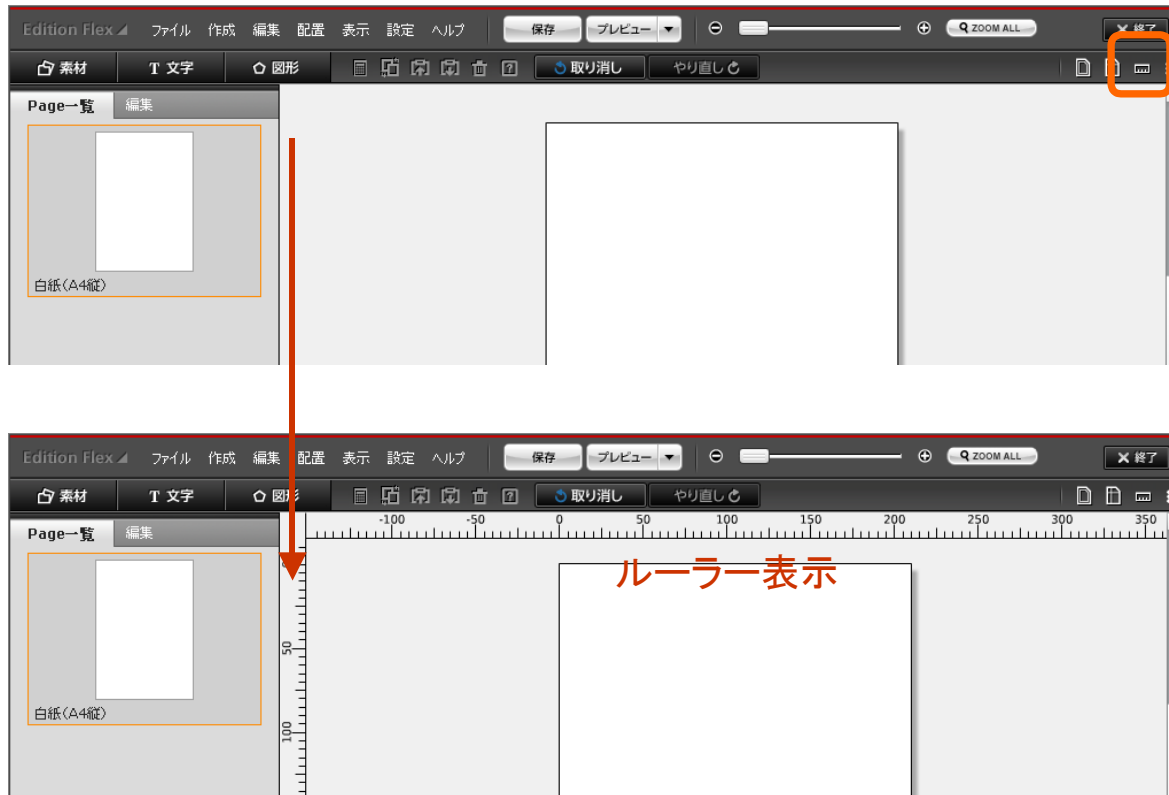
下図のようにルーラー表示モードと非表示モードを切り替えることができます。

ルーラーは表示倍率に連動します。

図中のルーラーアイコンのクリックでも同じ動作となります。

Flex でのドキュメントの原点は、余白部分を含まないドキュメントの左上の角になります。

座標系の方向は、Xは右方向に+、Yは下方向に+となります。



## 2-16-10 レイヤー 1 に作図

メニューからのレイヤー操作は、下図の、ボトムバーにあるレイヤー・インジケターと連動します。



レイヤーは下表の 4 つの状態を選択できます。

状態	レイヤー1		レイヤー2		アイコン
	レイヤー1	レイヤー2	レイヤー1	レイヤー2	
1	アクティブ	表示	ロック	非表示	
2	アクティブ	表示	ロック	表示	
3	ロック	非表示	アクティブ	表示	
4	ロック	表示	アクティブ	表示	

「レイヤー1に作図」を選択すると、状態1にセットされます。

レイヤー1に要素を作図するという操作です。

状態1は編集時の初期状態です。

#### 2-16-11 レイヤー1表示切替

「レイヤー1表示切替」を選択すると、状態1、2、4の場合は状態3にします。

状態3の場合は状態1にします。

レイヤー1の表示状態を反転する操作です。

#### 2-16-12 レイヤー2に作図

「レイヤー2に作図」を選択すると、状態3にセットされます。

レイヤー2に要素を作図するという操作です。

#### 2-16-13 レイヤー2表示切替

「レイヤー2表示切替」を選択すると状態2、3、4の場合は状態1にします。

状態1の場合は状態3にします。

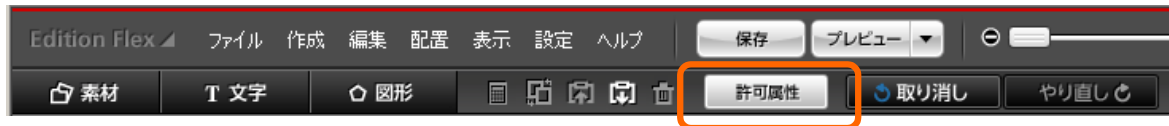
レイヤー2の表示状態を反転する操作です。

## 2-17 設定メニュー

設定メニューは、Edition BackStage のデザイナーアカウントを用いて Flex 編集画面を利用した際と、一部のデモ画面でのみ表示されます。ユーザーモードを切り替えるメニューです。

### 2-17-1 デザイナーモード

Edition BackStage のデザイナーアカウントを用いて Flex 編集画面を利用した際に、編集画面の初期状態はデザイナーモードとなります。主にテンプレートそのものを作るための、ユーザーモードです。デザイナーモードでは、下図の「許可属性」ボタンが表示されます。



許可属性のクリックで要素の許可属性の設定が行えます。詳細は2-12-9を参照してください。

また、デザイナーモードでは、他のユーザーモードと比較して下記の違いがあります。

- ・ 表示倍率を 1600%まで拡大可能です。
- ・ 素材のアップロード機能が省略されています。(デザイナーは BackStage で素材を管理するためです)
- ・ 設定メニューでユーザーモードを選択できます。
- ・ 素材入替時のライブラリダイアログでフォルダーツリーが表示されます。
- ・ カセット入替時のカセットライブラリ・ダイアログでフォルダーツリーが表示されます。

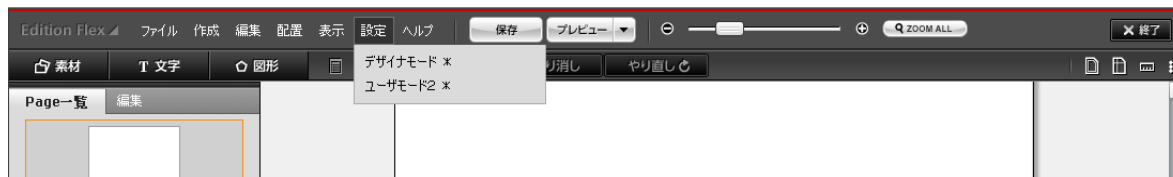
## 2-17-2 ユーザーモード

Edition Flex では、いくつかのユーザーモードを決め、それぞれが使用可能なメニューのセットを定義することができます。下図のように、デザイナーモードでは、他のユーザーモードに切り替えて操作することができます。



他のユーザーモードでメニュー項目を確認することに加え、要素の許可属性の設定を実際に操作して確認することができます。

ユーザーモードを選択した場合に、下図のように設定メニューにデザイナーモードが表示されます。デザイナーモードの選択で元のデザイナーモードに復帰します。



## 2-18 ヘルプメニュー

### 2-18-1 ヘルプ

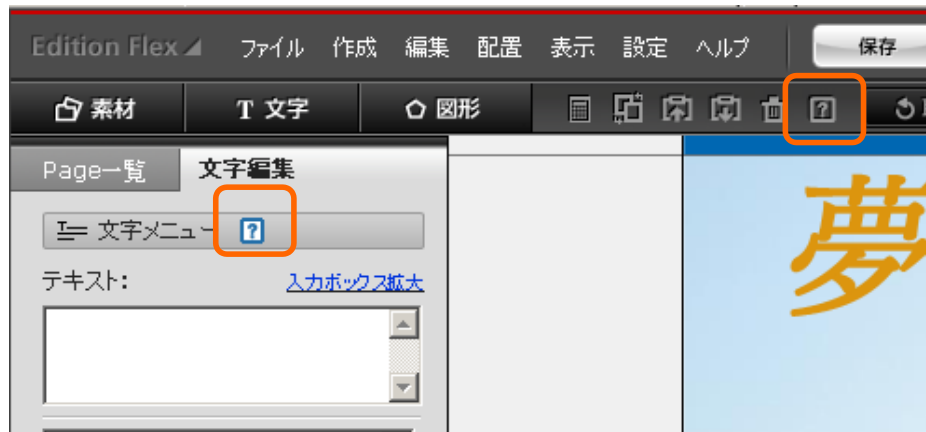
運用用途に合わせてヘルプコンテンツをご用意いただく想定で、指定 URL をウィンドウで開きます。

HTML の編集により URL を設定します。

標準のヘルプコンテンツはありません。

デザイナーモード以外では、下図のように、TOP メニュー部のヘルプ表示、コマンド毎のヘルプ表示用のリンクアイコンが用意されています。

こちらも運用用途に合わせてヘルプをご用意いただくためのもので、標準のヘルプコンテンツはありません。



## 2-18-2 キーボードの使い方

キーボード併用操作について以下のコンテンツを表示します。

Edition Flex キーボード操作一覧

操作方法	→	動作内容
Altキー+マウス左ボタンのドラッグ	→	パン操作
Ctrlキー+マウス左ボタンのドラッグ	→	拡大表示
選択操作時のShiftキー+マウス左ボタンのクリック	→	選択状態の反転
座標指定時のShiftキー+マウス左ボタンのクリック	→	水平垂直に拘束
ドラッグ操作時のShiftキー	→	水平垂直に拘束
拡大縮小ハンドル操作時のShiftキー	→	縦横比率固定モードの反転
回転ハンドル操作時のShiftキー	→	45度単位に拘束

[ヘルプを開じる](#)

## 2-18-3 Edition Flex について

運用用途に合わせて予備のコンテンツをご用意いただく想定で、指定 URL をウィンドウで開きます。

HTML の編集により URL を設定します。

## 2-19 保存ボタン

作業中のページの編集結果を保存します。



## 2-20 プレビューメニュー

編集画面の編集結果をメニューから選択したフォーマットにより、別ウィンドウでプレビューします。  
メニュー内容はユーザーモード別に設定可能です



低解像度フォーマットの場合には、誤用を避けるため、下図のように「Sample」等の文字を埋め込むことができます。  
文字、デザイン、位置、サイズはカスタマイズ可能です。



## 2-21 ズームスライダーバー

スライダーのスライドに応じて画面の倍率が変わります。



ズームの詳細は2-15を参照してください。

## 2-22 ズームオール

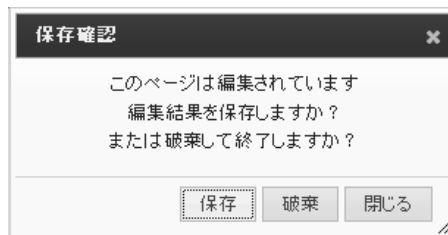
操作時点のウィンドウサイズに合わせて、ドキュメント全体が編集エリアに表示され、なおかつ最大表示倍率になるように表示します。



### 2-23 終了ボタン

編集を終了して、編集終了画面に遷移します。

編集内容を保存していない場合は、保存確認ダイアログを表示します。



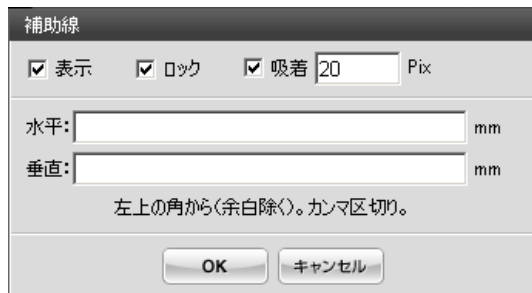
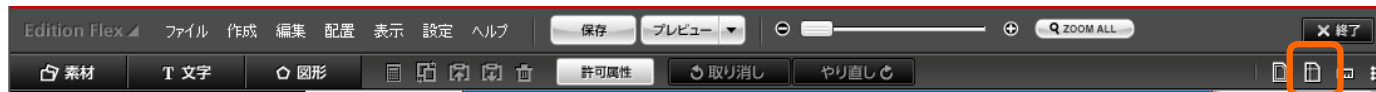
### 2-24 余白表示アイコン

編集中のドキュメントのテンプレートに余白が設定されていれば、余白表示モードと非表示モードを切り替えることができます。

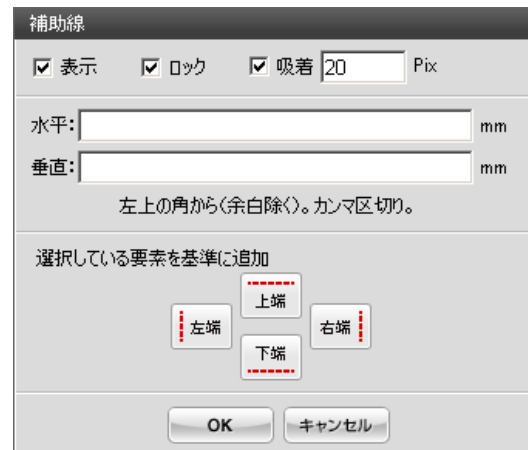
詳細は2-16-8を参照してください。

## 2-25 補助線アイコン

補助線アイコンのクリックで補助線ダイアログを表示し、補助線を作成できます。  
下図のように、要素の選択状態にある場合は、異なるダイアログが表示されます。



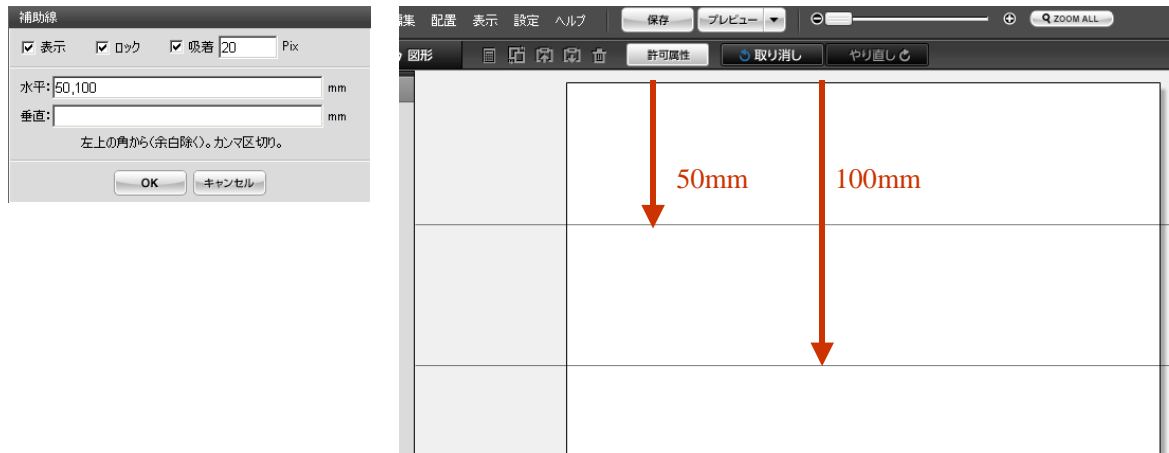
補助線ダイアログ



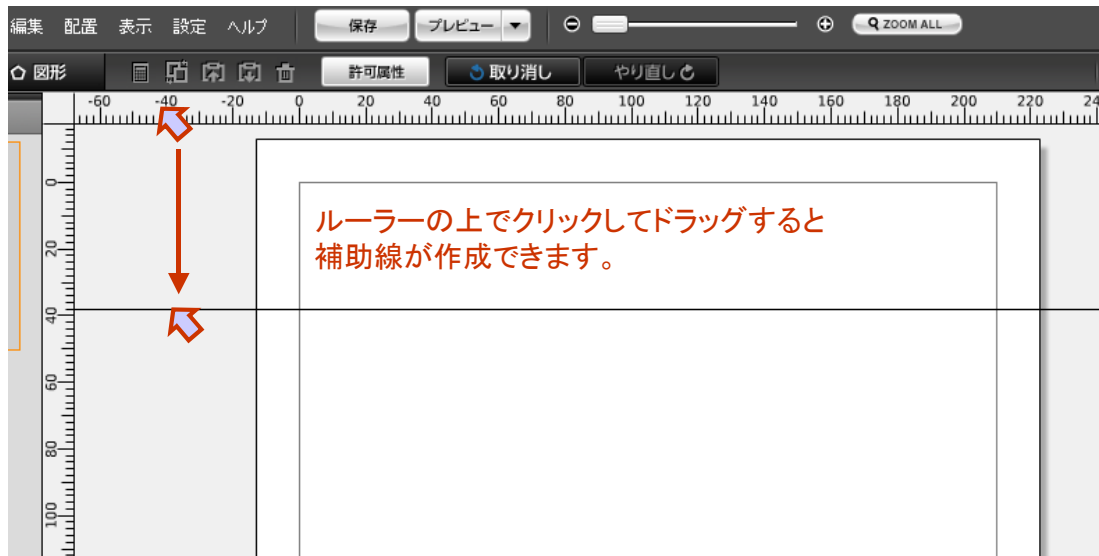
要素選択時の補助線ダイアログ

- 水平な補助線を作成するには

下図のように、「水平：」テキストボックスに、カンマ区切りで水平な補助線の原点からの距離を入力します。

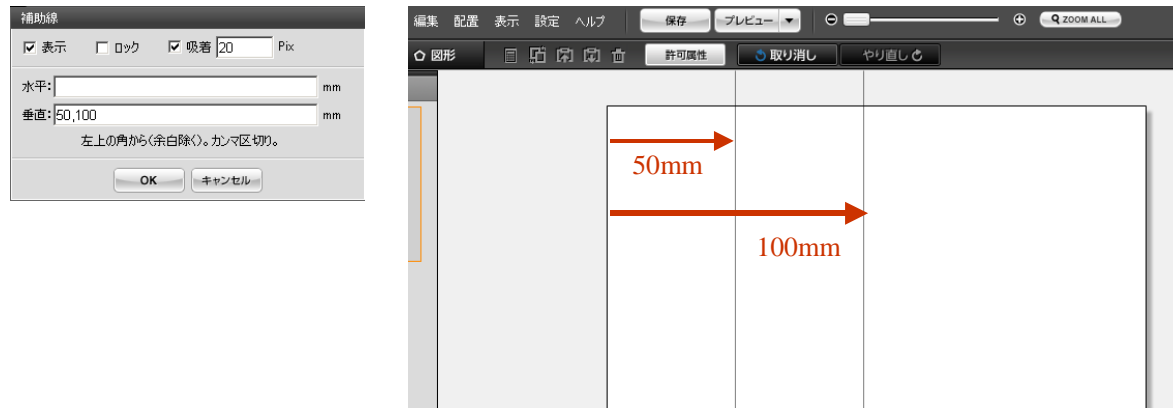


また、下図のように、ルーラーが表示されている状態では、ルーラーの上で左クリックしてドラッグすることでも補助線を作成できます。  
(垂直な補助線を作成するには、縦のルーラーの上でクリックしてドラッグします)



- 垂直な補助線を作成するには

下図のように、「垂直：」テキストボックスに、カンマ区切りで垂直な補助線の原点からの距離を入力します。



- 編集画面上の要素を手掛かりに補助線を作成するには

下図のように、手掛かりとしたい要素を選択した状態で、補助線アイコンをクリックします。

ダイアログに「上端」「下端」「左端」「右端」の4つのボタンが表示されますので、手掛かりとなる要素のどの部分に補助線を作成するかに合わせてクリックします。

要素の座標を計算して、「水平：」や「垂直：」のテキストボックスに値が挿入されます。



- ・ 「表示」 チェックボックス  
 チェックを外すと補助線を非表示にできます。
- ・ 「ロック」 チェックボックス  
 補助線は通常の要素と同様に、選択、移動、削除ができますが、ロックをチェックすることで、選択できなくなります。
- ・ 「吸着」 チェックボックスとテキストボックス  
 補助線や補助線の交点には、カーソルや要素の配置基準点が吸着して、正確な作図を補助します。  
 初期状態では吸着がオンで吸着距離は 20 ピクセルです。  
 必要に応じて吸着を解除しておくことや、吸着距離を調整できます。

## 2-26 ルーラーアイコン

ルーラー表示モードと非表示モードを切り替えることができます。  
 詳細は 2-16-9 を参照してください。

## 2-27 グリッドアイコン

グリッドアイコンのクリックでグリッドダイアログを表示し、グリッドを表示することができます。余白を含まない用紙の左上を原点として、XとYの間隔を下図のように指定できます。

- ・ 「表示」チェックボックス  
チェックを外すとグリッドを非表示にできます。
- ・ 「吸着」チェックボックスとテキストボックス  
オンにすることでグリッドにカーソルを吸着します。吸着距離を指定できます。
- ・ 「原点」テキストボックス  
初期状態の原点を数値指定でシフトすることができます。



## 2-28 レイヤー・インジケータ

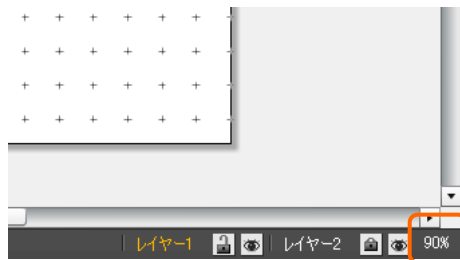
下図のレイヤー・インジケータの鍵マークと目のマークをクリックすることで、下表の4つの状態で作業することができます。



状態	レイヤー1		レイヤー2		アイコン
1	アクティブ	表示	ロック	非表示	レイヤー1 (ロック、表示) レイヤー2 (ロック、非表示)
2	アクティブ	表示	ロック	表示	レイヤー1 (ロック、表示) レイヤー2 (ロック、表示)
3	ロック	非表示	アクティブ	表示	レイヤー1 (ロック、非表示) レイヤー2 (アクティブ、表示)
4	ロック	表示	アクティブ	表示	レイヤー1 (ロック、表示) レイヤー2 (アクティブ、表示)

## 2-29 表示倍率

ボトムバーの右端に、編集画面の表示倍率の目安が%表示されます。



## 2-30 複数要素の選択

複数の要素を選択した場合、サイドパネルには下図のような複数要素の編集メニューが表示されます。  
整列コマンドでは下図右のようなサブメニューが表示されます。



### 2-30-1 グループ化

選択中の複数の要素を一つにまとめます。グループ化以降は、複数の要素をまとめて選択して操作できます。  
グループ化した要素の配置基準点は中心になります。  
グループ化は解除することができます。

### 2-30-2 整列

選択した要素をサブメニューから選択して整列します。  
詳細は2-15-13~を参照してください。

## 2-30-3 マスク

最前面にある要素の輪郭で、その下に重なる要素を切り抜きます。

切り抜き後はマスク要素となり、解除（元に戻す）が可能です。

最前面の要素は閉図形であり、切り抜く要素と重なっている必要があります。

詳細は2-13-9を参照してください。

## 2-31 数値入力アシスト

デザイナーモード以外では、編集パネルの数値入力のテキストボックスをアクティブにすることで、下図の数値入力ダイアログが表示されます。

マウスによって、テンキーをクリックすることで数値入力が行えます。

マイナス値を許さない場合は（+/-）キーは表示されません。

数値入力ダイアログが開いた状態でもキーボードの数値入力を受け付けます。



## 2-32 特定要素選択

### 2-32-1 カセット

- カセットの入れ替え

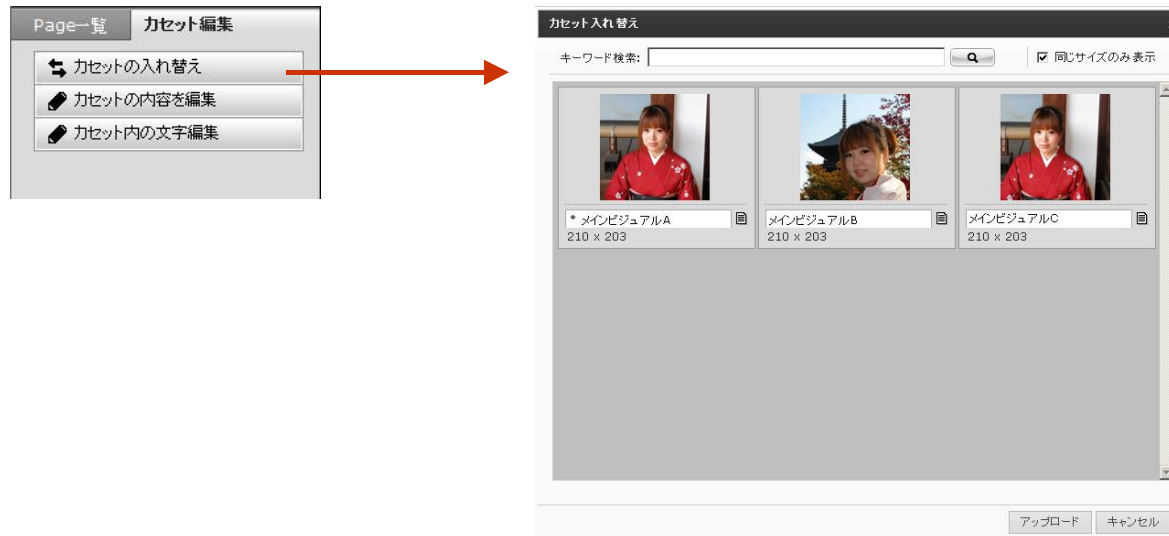
カセットを選択すると、サイドパネルに下図のメニューが表示されます。

「カセットの入れ替え」をクリックして「カセットの入れ替え」ダイアログを表示し、入れ替えるカセットを選択できます。

「同じサイズのみ表示」のチェックを外すと、異なる縦横比のカセットも表示対象になります。

ダイアログに表示されるカセットは、選択したカセットと、BackStage上で同じフォルダー内で管理されているカセットになります。

デザイナーモードでは、フォルダーツリーが表示され、異なるフォルダーのカセットとの入れ替えも可能になります。



- カセットの内容を編集

「カセットの内容を編集」をクリックすると、選択されていたカセットが編集画面一杯に表示され、カセットに含まれる各要素を個々に、許可された範囲で編集することができます。

カセットの編集中は編集画面の下に「カセット内編集の終了」ボタンが表示されますので、クリックでカセットの編集を終了し、元に復帰することができます。

カセットの編集が許可されていなければ、「カセットの内容を編集」のボタンは表示されませんので、ユーザーはカセットの入れ替えだけが可能になります。



## 2-32-2 画像

- ・ 素材の入れ替え

画像を選択すると、サイドパネルに下図のメニューが表示されます。

「素材の入れ替え」をクリックして「素材入れ替え」ダイアログを表示し、入れ替える素材を選択できます。

「同じサイズのみ表示」のチェックを外すと、異なる縦横比の素材も表示対象になります。

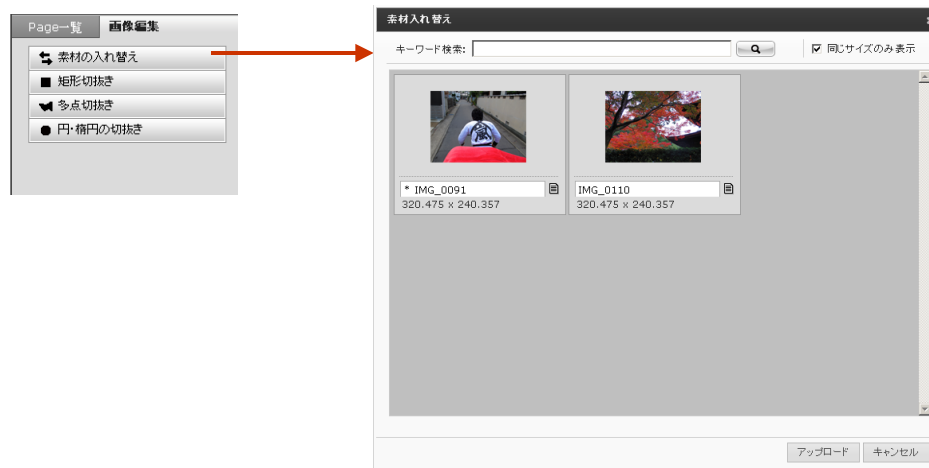
ダイアログに表示される素材は、選択した素材と、**BackStage** 上で同じフォルダー内で管理されている素材になります。

デザイナーモードでは、フォルダーツリーが表示され、異なるフォルダーの素材との入れ替えも可能になります。

ダイアログ下の「アップロード」のクリックで、ローカルファイルを指定して入れ替えることも可能です。(デザイナーモード以外)

その場合、アップロードしたファイルはダイアログ中に保存はされません。

アップロード可能なフォーマットは2-7-3を参照してください。



### 2-32-3 マスク要素

マスク要素を選択すると、サイドパネルに下図のメニューが表示されます。

「マスク解除」をクリックしてマスクを解除できます。

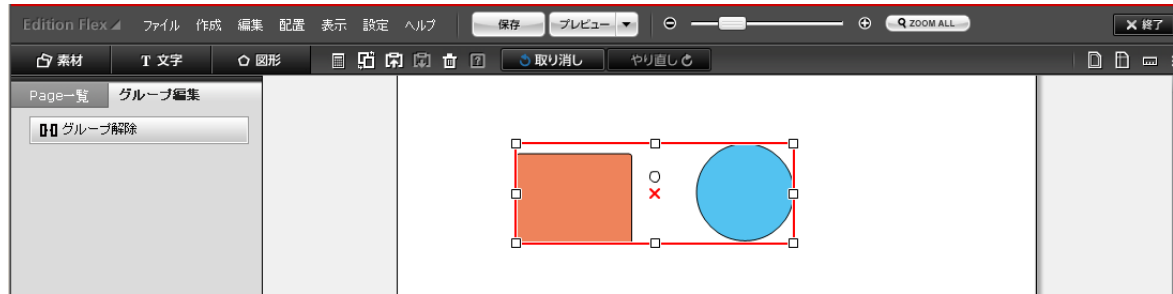
要素でマスクした場合は要素を含めて元に戻ります。



## 2-3 2-4 グループ要素

グループ要素を選択すると、サイドパネルに下図のメニューが表示されます。

「グループ解除」をクリックしてグループを解除できます。



### 2-3-3 素材メニュー

下図の素材メニューボタンの有無とメニューは設定ファイルにより、ユーザーモード別に設定が可能です。  
個々のメニューの機能は 2-7 ファイルメニューを参照してください。



## 2-34 文字メニュー

下図の文字メニューボタンの有無とメニューは設定ファイルにより、ユーザーモード別に設定が可能です。  
個々のメニューの機能は 2-8 作成メニューを参照してください。



## 2-35 図形メニュー

下図の図形メニューボタンの有無とメニューは設定ファイルにより、ユーザーモード別に設定が可能です。  
個々のメニューの機能は 2-8 作成メニューを参照してください。



CMYK, 53, 54  
JR 線路, 49  
QR コード, 32  
RGB, 53, 54  
アップロード, 20  
色選択パレット, 53  
上揃え, 71  
上へ, 69, 77  
エクセル, 22  
円, 37  
円・楕円切り抜き, 67  
円弧, 39  
回転を戻す, 70  
拡大, 64, 76  
カセット, 20, 97  
カセット内編集の終了, 98  
カセットの入れ替え, 97  
カセットの内容を編集, 98  
カセットライブラリ, 20  
河川, 52  
画像, 99  
キーボード, 85  
キーワード検索, 19  
許可属性, 61  
矩形切り抜き, 66  
グリッド, 93

グループ, 65  
グループ化, 95  
グループ解除, 65  
グループ要素, 100  
コピー, 64  
最前面へ, 71  
最背面へ, 71  
削除, 65  
作成, 26  
座標・回転, 68  
左右の均等揃え, 75  
左右の中心揃え, 73  
下揃え, 72  
下へ, 69, 77  
私鉄線路, 50  
終了, 25, 88  
縮小, 64, 76  
上下の均等揃え, 74  
上下の中心揃え, 72  
数値入力, 96  
ズーム, 87  
ズームオール, 87  
図形メニュー, 104  
寸法線, 47  
整列, 95  
設定, 82

---

全体表示, 77  
前面へ, 70  
操作の取り消し, 67  
操作のやり直し, 68  
素材アップロード, 22  
素材の入れ替え, 99  
素材メニュー, 102  
楕円, 38  
楕円弧, 40  
多角形, 42  
多点切り抜き, 67  
段組文字, 28  
長方形, 34  
直線, 33  
手書き線, 43  
デザイナーモード, 82  
道路, 51  
特定要素選択, 97  
二重線, 35  
配置, 68  
背面へ, 71  
波線, 36  
バルーン, 45  
引き出し線, 46  
左回転, 70  
左揃え, 73  
左へ, 69, 77  
表示, 76  
表示倍率, 94  
複数要素の選択, 95  
プレビュー, 86  
プロパティ編集, 64  
ページ一覧, 23  
ペースト, 65  
ヘルプ, 84  
編集, 64  
補助線, 89  
保存, 24, 86  
マーカー, 48  
マーカー線, 44  
マスク, 65, 96  
マスク要素, 100  
右回転, 70  
右揃え, 74  
右へ, 70, 78  
文字, 26  
文字アーチ, 30  
文字メニュー, 103  
ユーザーモード, 82, 83  
要素の移動, 56  
要素の回転, 57  
要素の拡大・縮小, 56

---

---

要素の重なり順編集, 60

要素の許可属性の編集, 61

要素のコピー, 60

要素のサイズと位置の編集, 58

要素の削除, 61

要素の選択, 56

要素の編集, 57

余白表示, 88

余白表示切替, 78

ライブラリ, 17

ラベル, 19

ルーラー, 92

ルーラー表示切替, 79

レイヤー, 80, 94

連続線, 41